

ごあいさつ

埼玉県産業技術総合センター(略称:SAITEC)は、県内産業の研究開発支援や技術支援を中心とした事業を行うことを目的として、川口市内 SKIP シティの本所と熊谷市内の北部研究所の2拠点で実施してまいりました。

国内における経済は緩やかな回復の傾向が見られ、大企業を中心に業績が好転しておりますが、その効果が中小企業に波及するには、さらに時間を要するものと思われまます。こうした中、SAITEC は企業から信頼される試験研究機関を目指すため、様々な目標を掲げて実施しております。その中の一つに、「次世代技術を先導すること」がありますが、平成 26 年度より具体的な歩みを進めております。新たな技術を中小企業から発信していくための、SAITEC の取り組みの一つです。

その時代の産業が抱える様々な課題に取り組むため、SAITEC では特別チームを編成してきました。平成 25 年度には、これまで行われてきたBEMS/HEMS、ソフトウェアのチームにCAEを新たに加え、技術開発支援に要する時間の短縮化などを目指しております。特別チームは、常に技術の変化に呼応して編成を再構築することにより、企業がその時に最も必要とする技術を提供できるようにいたします。

平成 25 年度は、技術相談件数 20,113 件、依頼試験件数 21,849 件、機器開放件数 4,152 件、機器開放利用時間 57,023 時間となっており、中小企業の皆様を中心として、数多くの御利用をいただきました。これからも企業や地域のニーズを積極的に把握し、次の時代につながる技術支援に務めてまいります。

本業務報告は、平成 25 年度埼玉県産業技術総合センターの業務実績を取りまとめたものでございます。御参考にしていただければ幸いです。

平成 26 年 8 月

埼玉県産業技術総合センター
センター長 牟田口 照恭

平成25年度業務報告目次

ごあいさつ.....	i
1 埼玉県産業技術総合センター概要.....	1
1.1 沿革.....	1
1.2 組織と事務分掌.....	2
1.3 職員.....	3
1.4 所在地、土地建物.....	4
1.5 会計.....	5
1.6 貸会議室等.....	6
1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等.....	6
1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数.....	6
1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数.....	6
1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数.....	6
1.7 試験研究設備の整備状況.....	7
2 技術支援.....	8
2.1 技術相談・技術指導.....	8
2.1.1 職員による技術相談・技術指導.....	8
2.1.2 技術アドバイザー指導事業.....	10
2.1.3 現場改善・製品化支援事業.....	11
2.2 依頼試験.....	12
2.2.1 依頼試験.....	12
2.2.2 放射線測定依頼試験.....	13
2.2.3 試験所の登録.....	13
2.3 機器開放.....	14
2.3.1 機器開放.....	14
2.3.2 機器操作技術認定研修.....	15
2.4 技術普及業務.....	15
2.4.1 SAITEC 研究発表会.....	15
2.4.2 SAITEC 研究発表会(熊谷会場).....	15
2.5 次世代自動車支援事業の運営支援.....	16
2.5.1 部会及び各研究会参加企業数.....	16
2.5.2 研究会等の名称及び担当者一覧表.....	16
2.5.3 各研究会の概要.....	16
2.5.4 講演会・セミナー.....	17
2.6 技術講習会、講演会の開催.....	18
2.7 培養酵母の頒布.....	25
3 研究開発.....	26
3.1 研究開発.....	26
3.1.1 政策的研究課題.....	26
3.1.2 受託研究.....	27
3.2 研究開発および技術支援による実用化・商品化.....	27
3.3 客員研究員.....	28
3.4 研究成果の公表.....	28
3.4.1 センター主催の発表.....	28
3.4.2 学会等への発表(国際会議含む).....	29
3.5 研究課題の評価.....	31
3.5.1 事前評価.....	31

3.5.2	事後評価	31
4	研究開発支援	32
4.1	産学官連携の推進	32
4.1.1	産学官連携推進について	32
4.1.2	産学官連携関連展示会(主催事業)	32
4.1.3	産学官連携に関連する展示会	33
4.1.4	SAITEC 内特別チーム	33
4.2	助成制度への取り組み	34
4.2.1	研究開発型企業支援事業	34
4.3	特許の取得推進とその活用	35
4.3.1	産業財産権の一覧	35
4.3.2	実施許諾	37
5	交流	38
5.1	異業種交流支援事業	38
5.1.1	産学官交流プラザ	38
5.1.2	埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼北ネット)	38
5.1.3	埼玉食品テクノプラザ	39
5.1.4	さきたま利根テクノプラザ(STTEP)	40
5.2	新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)	41
5.2.1	鋳物技術委員会	41
5.2.2	埼玉県ものづくり研究会	41
5.2.3	埼玉県熱処理技術研究会	41
5.2.4	品質工学フォーラム埼玉(QEF 埼玉)	41
5.2.5	埼玉県米菓研究会	41
5.2.6	清酒製造技術研究会	41
5.3	首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表:他県を含む】	42
5.4	RINGS NET(新潟、群馬、埼玉 3 県公設試連携)	45
5.4.1	3 県公設試連携推進会議の開催 2 回	45
5.4.2	研究発表者相互派遣事業	45
5.4.3	担当分野別交流会等の開催	45
5.5	講演会等講師派遣	45
5.6	審査会等への派遣	47
5.7	技術評価	48
5.8	会議等への参加	49
6	情報提供	54
6.1	研究報告	54
6.2	利用促進	54
6.2.1	業務報告	54
6.2.2	インターネットによる技術情報の提供	54
6.2.3	記者発表	54
6.2.4	マスメディア報道	54
7	起業化支援	56
7.1	入居企業	56
7.2	支援実績	56
8	人材育成	57
8.1	研修生の受け入れ	57
8.1.1	中小企業等研究者養成研修事業	57
8.1.2	インターンシップ事業	58
8.1.3	平成 25 年度鋳造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ	58

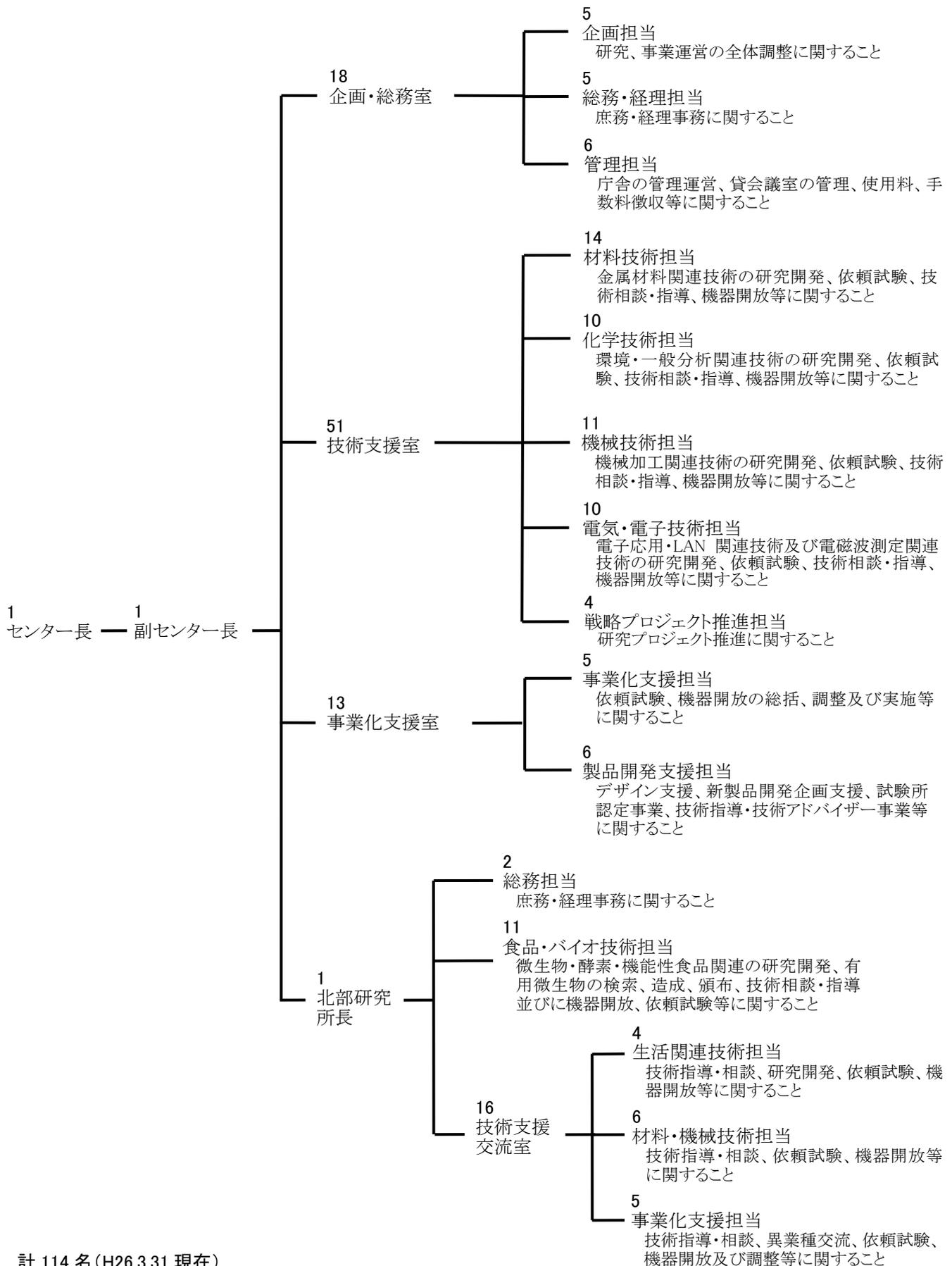
8.2	技術競技会.....	59
8.2.1	第 49 回埼玉県鑄造技術コンクール.....	59
8.2.2	平成 25 年度(第 56 回)埼玉県めっき技術競技会.....	60
8.2.3	平成 25 酒造年度春季清酒鑑評会.....	60
8.3	ものづくり開発支援研修.....	61
8.4	科学技術体験学習の実施.....	63
8.4.1	スーパーサイエンスハイスクール事業.....	63
9	その他の事業.....	64
9.1	職員研修.....	64
9.2	顧客満足度(CS)アンケート.....	66
9.3	運営委員会の開催.....	66
9.3.1	開催状況.....	66
9.3.2	運営委員.....	66

1 埼玉県産業技術総合センター概要

1.1 沿革

大正10年	埼玉県熊谷工業試験場設立、庶務部、染色部及び機織部の3部を設置
大正11年	整理部を増設し4部となる
大正12年	図案部を増設し5部となる
昭和 5年	醸造部を増設し(昭和21年に技術部に改称)6部となる 埼玉県秩父工業試験場設立、熊谷工業試験場の機織部及び図案部を移転
昭和 6年	埼玉県熊谷工業試験場浦和分場を設置し整理部を移転
昭和 8年	埼玉県川口鋳物工業試験場設立
昭和 9年	浦和分場を埼玉県染色試験場と改称し熊谷工業試験場の染色部を移転、 熊谷工業試験場は名称を埼玉県醸造試験場と改称
昭和11年	埼玉県小川製紙研究所設立
昭和12年	埼玉県仏子染織指導所設立 埼玉県秩父工業試験場を埼玉県秩父染織指導所と改称 埼玉県川口鋳物工業試験場を埼玉県川口重工業指導所と改称 埼玉県醸造試験場に染色部を再設置し(昭和18年に廃止)、埼玉県熊谷醸造指導所と改称 埼玉県小川製紙研究所を埼玉県小川製紙指導所と改称
昭和19年	埼玉県熊谷醸造指導所を埼玉県醸造指導所と改称 埼玉県秩父染織指導所を埼玉県秩父工業指導所と改称 埼玉県仏子染織指導所を埼玉県繊維工業指導所と改称 埼玉県小川製紙指導所を埼玉県製紙工業指導所と改称
昭和20年	埼玉県川口重工業指導所を埼玉県鋳物指導所と改称
昭和24年	埼玉県行田繊維工業指導所設立
昭和31年	埼玉県醸造指導所を埼玉県醸造試験場と改称 埼玉県秩父工業指導所を埼玉県秩父繊維工業試験場と改称 埼玉県繊維工業指導所を埼玉県繊維工業試験場と改称 埼玉県行田繊維工業指導所を埼玉県行田繊維工業試験場と改称 埼玉県製紙工業指導所を埼玉県製紙工業試験場と改称 埼玉県鋳物指導所を埼玉県鋳物工業試験場と改称
昭和36年	埼玉県デザインセンターを大宮市の埼玉県商工会館内に設置
昭和38年	埼玉県鋳物工業試験場を川口市本町から川口市芝に移転し、埼玉県鋳物機械工業試験場と改称
昭和42年	埼玉県工芸試験場を浦和市に設立、デザインセンターを廃止
昭和47年	醸造試験場の建設工事竣工、埼玉県食品工業試験場と改称
昭和58年	埼玉県工芸試験場を埼玉県工業技術研究所に改称 埼玉県行田繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場に、埼玉県繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場入間支場に、埼玉県秩父繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組
平成 7年	鋳物機械工業試験場において、新技術事業団(現 (独) 科学技術振興機構)及び科学技術庁金属材料研究所との共同研究を開始するため、新技術事業団埼玉研究室及び新技術事業団のプレハブ実験棟を設置
平成10年	5研究機関7施設を再編・統合し、埼玉県工業技術センター設立 本所(川口市・旧鋳物機械工業試験場)、南部研究所(浦和市・旧工業技術研究所)及び北部研究所(熊谷市・旧食品工業試験場)の3施設を設置
平成15年	埼玉県工業技術センターを廃止し、埼玉県産業技術総合センター設立 埼玉県産業技術総合センター(川口市)及び埼玉県産業技術総合センター 北部研究所(熊谷市・旧埼玉県工業技術センター北部研究所)の2施設を設置

1.2 組織と事務分掌



1.3 職員

センター長 (事)	牟田口 照 恭
副センター長兼室長 (事)	鈴 木 康 之

本 所

企画・総務室		副 室 長 (事)	大 山 亨
副 室 長 (技)	高 橋 利 男		
企画担当		担 当 部 長 (技)	小 口 正 浩
専 門 研 究 員 (技)	原 田 勝 利	主 任 (技)	門 間 由 洋
技 師	蓮 俊 介	技 師	岩 崎 翼
総務・経理担当		担 当 部 長 (事)	山 岸 善 行
主 任 (事)	篠 将 威	主 任 (事)	井 上 香
主 任 (事)	荻 原 弘 之	非 常 勤	鎌 田 芳 江
管理担当		担 当 部 長 (事)	大 塩 澄 男
担 当 課 長 (事)	永 野 幸 彦	主 任 (事)	田 川 英 昭
主 任 (事)	永 瀬 玲 子	主 任 (事)	田 中 純 子
主 任 (事)	木 部 繭 子		
技術支援室		副 室 長 (技)	増 田 伸 二
副 室 長 (技)	戸 枝 保		
材料技術担当		担 当 部 長 (技)	笹 川 俊 夫
担 当 部 長 (技)	澁 谷 康 彦	担 当 部 長 (技)	麻 生 信 之
担 当 部 長 (技)	永 野 正 明	主 任 研 究 員 (技)	永 井 寛
主 任 研 究 員 (技)	福 島 泰 年	専 門 研 究 員 (技)	矢 澤 貞 春
専 門 研 究 員 (技)	篠 崎 誠	専 門 研 究 員 (技)	清 水 宏 一
主 任 (技)	井 上 裕 之	主 任 (技)	秋 山 稔
主 任 (技)	菊 池 和 尚	技 師	細 見 喜 洋
技 師	廣 島 啓 太		
化学技術担当		担 当 部 長 (技)	赤 澤 力
専 門 研 究 員 (技)	鈴 木 昌 資	専 門 研 究 員 (技)	奥 野 慎
専 門 研 究 員 (技)	熊 谷 知 哉	専 門 研 究 員 (技)	仲 島 日 出 男
専 門 研 究 員 (技)	佐 野 勝	主 任 (技)	灘 野 朋 美
主 任 (技)	坂 本 大 輔	主 任 (技)	須 川 真 希 代
技 師	大 西 健 太		
機械技術担当		主 任 研 究 員 (技)	出 口 貴 久
専 門 研 究 員 (技)	小 熊 広 之	専 門 研 究 員 (技)	宇 野 彰 一
専 門 研 究 員 (技)	南 部 洋 平	主 任 (技)	島 崎 景 正
主 任 (技)	山 田 岳 大	主 任 (技)	落 合 一 裕
技 師	長 野 隼 人	技 師	内 藤 理 恵
技 師	宮 崎 智 詞	技 師	佐 藤 宏 惟
電気・電子技術担当		担 当 部 長 (技)	安 藤 昌 弘
主 任 研 究 員 (技)	荻 野 重 人	専 門 研 究 員 (技)	内 藤 丈 資
専 門 研 究 員 (技)	能 戸 崇 行	専 門 研 究 員 (技)	鈴 木 浩 之
主 任 (技)	田 中 智 大	主 任 (技)	森 田 寛 之
主 任 (技)	宗 形 隆 史	技 師	岡 林 美 由 貴
技 師	鈴 木 啓 介		
戦略プロジェクト推進担当		担 当 部 長 (技)	関 根 正 裕
主 任 (技)	栗 原 英 紀	主 任 (技)	半 田 隆 志
技 師	稲 本 将 史		

事業化支援室		室長(事)	土井智行
副室長(技)	細野光広		
事業化支援担当		担当部長(事)	青山正則
専門員(技)	棚橋綱男	専門員(技)	齊藤弘美
専門員(技)	新井尚機	専門員(技)	町田芳明
製品開発支援担当		担当部長(技)	影山和則
担当部長(技)	巻島秀男	専門研究員(技)	唐牛聖文
専門研究員(技)	山川徹郎	主任(技)	常木裕己
主任(技)	本多春樹		

北部研究所

所長(技)	中島規之		
総務担当		担当部長(事)	峯岸美智子
主任(事)	今井精一		
食品・バイオ技術担当		担当部長(技)	増田こずえ
担当部長(技)	小島登貴子	主任研究員(技)	横堀正敏
専門研究員(技)	細井永次	主任(技)	常見崇史
主任(技)	樋口誠一	主任(技)	富永達矢
主任(技)	鶴菌大	主任(技)	海野まりえ
技師	成澤朋之	技師	鈴木康修
技術支援交流室		室長(技)	小林孝司
生活関連技術担当		担当部長(技)	宮原進
担当部長(技)	高橋広子	主任研究員(技)	清水英明
技師	飯塚真也		
材料・機械技術担当		担当部長(技)	小林茂
主任研究員(技)	山口葉子	主任(技)	関根俊彰
主任(技)	鈴木理博	技師	鳥羽遼子
専門員(技)	大川薫		
事業化支援担当		担当部長(事)	高木利光
専門員(技)	村田一英	専門員(技)	北村英三
専門員(技)	高柳博通	専門員(技)	竹内了

(H26.3.31 現在)

1.4 所在地、土地建物

- ◆ 埼玉県産業技術総合センター
 - 所在地 川口市上青木三丁目12番18号
 - 土地 18,352.58 平方メートル
 - 建物
 - 埼玉県産業技術総合センター 27,287.63 平方メートル
 - 埼玉県生活科学センター 4,420.30 平方メートル
 - 川口市立科学館 3,784.61 平方メートル
 - 合計 35,492.54 平方メートル
 - 構造 地上9階/地下1階

- ◆ 北部研究所
 - 所在地 熊谷市末広二丁目133番地
 - 土地 5,923.30 平方メートル
 - 建物
 - 本館 1,687.92 平方メートル
 - 試験棟 494.27 平方メートル
 - 新館 602.84 平方メートル
 - 試験棟 312.86 平方メートル
 - その他 73.60 平方メートル
 - 合計 3,171.49 平方メートル

1.5 会計

歳入

(単位:円)

科 目	本 所	北 部	合 計
使用料及び手数料	208,835,091	14,891,927	223,727,018
使用料	139,859,751	6,844,387	146,704,138
行政財産使用料	34,872,159	449,547	35,321,706
商工業使用料	104,987,592	6,394,840	111,382,432
手数料	68,975,340	8,047,540	77,022,880
商工業手数料	68,975,340	8,047,540	77,022,880
財産収入	15,429,671	840,500	16,270,171
財産運用収入	15,309,362	0	15,309,362
財産貸付収入	15,309,362	0	15,309,362
財産売払収入	120,309	840,500	960,809
物品売払収入	120,309	0	120,309
生産物売払収入	0	840,500	840,500
諸収入	62,201,745	522,000	62,723,745
受託事業収入	21,963,950	0	21,963,950
商工受託事業収入	21,963,950	0	21,963,950
雑入	40,237,795	522,000	40,759,795
違約金延納利息	40	0	40
雑入	40,237,755	522,000	40,759,755
合 計	286,466,507	16,254,427	302,720,934

歳出

(単位:円)

科 目	本 所	北 部	合 計
総務費	35,901,606	518,650	36,420,256
総務管理費	1,160,755	518,650	1,679,405
一般管理費	222,340	45,000	267,340
人事管理費	938,415	407,500	1,345,915
財産管理費	0	66,150	66,150
県民費	34,740,851	0	34,740,851
消費者対策費	34,740,851	0	34,740,851
商工費	420,984,945	51,407,912	472,392,857
商工業費	420,984,945	51,407,912	472,392,857
商工総務費	3,051,295	3,907,602	6,958,897
商工振興費	1,925,768	785,554	2,711,322
産業技術総合センター費	416,007,882	46,714,756	462,722,638
合 計	456,886,551	51,926,562	508,813,113

1.6 貸会議室等

1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等

(円)

階	区分 施設名	面積 (m ²)	定員 (人)	午 前	午 後	夜 間	超 過 (1時間)
1	多目的ホール1	199.64	130	6,180	8,240	6,180	2,060
1	多目的ホール2	273.92	170	8,480	11,300	8,480	2,820
3	3A会議室	66.46	30	2,050	2,740	2,050	680
3	3B会議室	66.46	30	2,050	2,740	2,050	680
4	4A会議室	66.46	33	2,050	2,740	2,050	680
4	4B会議室	66.46	33	2,050	2,740	2,050	680
4	4C会議室	70.92	33	2,190	2,920	2,190	730

1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数

	利用件数(件)				利用人数(人)			
	午 前	午 後	夜 間	計	午 前	午 後	夜 間	計
多目的ホール1	113	111	68	292	31,133	30,946	21,834	83,913
多目的ホール2	129	121	70	320	32,119	31,459	21,674	85,252
3A会議室	117	155	71	343	2,503	3,086	1,506	7,095
3B会議室	135	134	56	325	2,574	2,875	1,214	6,663
4A会議室	101	128	70	299	2,722	3,220	1,574	7,516
4B会議室	91	125	60	276	2,832	3,398	1,404	7,634
4C会議室	68	95	38	201	2,256	2,833	983	6,072
合 計	754	869	433	2,056	76,139	77,817	50,189	204,145

1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数

	県	川口市	その他 官公庁	公社 公団	入居商 工団体	他の商 工団体	民間 事業所	その他	合計
件 数	389	56	439	6	199	74	689	204	2,056
百分比(%)	18.9	2.7	21.4	0.3	9.7	3.6	33.5	9.9	100

1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数

	会議	研修会	講演会	大会	展示会	その他	合計
件 数	548	412	106	530	22	438	2,056
百分比(%)	26.7	20.0	5.2	25.8	1.1	21.3	100

1.7 試験研究設備の整備状況

新規購入機械器具

品名	数量	銘柄・規格等	設置場所
三次元測定機※	1	カールツァイス ACCURA-II aktiv 9/16/8	本所
走査型電子顕微鏡※	1	(株)日立ハイテクノロジーズ SU3500	本所
試料準備装置	1	ストルアス(株) テグラミン-25	本所
万能材料試験機制御用 PC	2	日本ヒューレット・パッカード(株) HP Conpaq Elite 8300SF	本所
セラミックプレート	6	東京硝子機械(株) HTP353AA	本所
ノイズジェネレータ	1	YorkEMCSservice CNEIII	本所
ミニプレーン	1	(株)エス・テイ・ジャパン STJ-01333	本所
サーモグラフィ	1	Fluke Ti125	本所
ライトスペック恒温恒湿器	1	エスペック(株) LHL-113	北部研究所
電気マッフル炉	1	アドバンテック(株) FUW253PA	北部研究所
ブロックゲージ	1	(株)ミツトヨ BM1-56-0 1MM、BM1-8M0	北部研究所
小型製粉機	1	(株)サタケ SRG05A	北部研究所
マイクロスコープ	1	(株)キーエンス VHX-2000	北部研究所
高周波誘電加熱装置	1	YRP-400T-A	北部研究所

※ 公益財団法人 JKA の「公設試験研究所設備拡充補助事業」による

2 技術支援

中小企業の技術支援のため、技術相談・技術指導、企業からの依頼に応じた依頼試験、試験研究機器の開放等を行うとともに、研究発表会等により技術の普及に努めた。また(財)埼玉県産業振興公社が研究会等を運営し、電気自動車の分解展示等を行う際の支援を当センターが行った。

2.1 技術相談・技術指導

中小企業の生産活動における技術的問題の解決、新製品や新商品の開発等を支援するため、当センター職員による相談・指導及び外部の技術専門家、技術アドバイザー等による技術相談・指導を実施した。

2.1.1 職員による技術相談・技術指導

本所

分類	項目	相談件数
機械関連	切削に関すること	536
	特殊加工に関すること	923
	設計に関すること	67
	精密測定に関すること	2,628
鋳物関連	鉄鋳物に関すること	217
	非鉄鋳物に関すること	90
	鋳型・鋳造方案に関すること	63
	鋳物不良対策に関すること	56
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	92
	腐食、防食に関すること	256
	熱処理に関すること	85
	塗装技術に関すること	2
材料試験・組織等	成分分析(金属)に関すること	416
	成分分析(非金属)に関すること	1,679
	材料強度等に関すること	836
	材料の物性、工業規格に関すること	581
	顕微鏡組織観察等に関すること	513
	材料のクレーム対策に関すること	32
	非破壊検査に関すること	171
電気・電子・制御関連	自動化、省力化に関すること	7
	制御技術に関すること	35
	電気、電子技術に関すること	2,066
窯業関連	窯業(製造)技術に関すること	5
	セラミックス技術に関すること	30
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	662
	複合・接着技術に関すること	14
デザイン関連	商品企画に関すること	123
	プロダクトデザインに関すること	7
	グラフィックデザインに関すること	0
福祉技術関連	福祉・リハビリテーション用具に関すること	592
環境技術関連	再資源化に関すること	0
	廃棄物処理に関すること	19
	環境等に関すること	5
	環境浄化技術に関すること	6
	省エネ技術に関すること	7
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	76
	機器操作に関すること	164
	製品開発に関すること	706
	生産技術に関すること	9
	材料・製品試験に関すること	421
	講習会、研修会等に関すること	78
	アドバイザー指導等に関すること	23
	異業種交流に関すること	2
	情報検索に関すること	4
	特許に関すること	44
	制度融資、補助金等に関すること	121
	その他上記以外の事項	1,009
小計 (うち実地指導件数)		15,478 (1,819)

北部研究所

分類	項目	相談件数
分析関連	組成・物性に関すること	58
	素材分析に関すること	337
	成分分析(金属)に関すること	55
	成分分析(非金属)に関すること	41
繊維・デザイン関連	染色加工等に関すること	9
	印刷技術に関すること	3
	染色堅ろう度等に関すること	79
	型紙調整等に関すること	4
	デザイン等に関すること	261
食品関連	酒類の製造に関すること	708
	穀類食品の製造に関すること	183
	調味料の製造に関すること	37
	漬物の製造に関すること	65
	その他食品の製造に関すること	125
	食品成分に関すること	55
	食品素材に関すること	40
	微生物・酵素に関すること	571
	食品分析に関すること	387
素材関連	原材料・薬剤・原料調整に関すること	30
	素材の応用技術に関すること	85
設計・生産関連	切削に関すること	0
	特殊加工(機械等)に関すること	0
	設計に関すること	0
	精密測定に関すること	163
	生産技術(機械等)に関すること	0
	材料・製品試験(機械等)に関すること	32
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	11
	腐食・防食に関すること	224
	熱処理に関すること	156
	塗装技術に関すること	3
材料試験・組織等	材料の強度等に関すること	236
	材料の物性・工業規格に関すること	36
	顕微鏡組織観察等に関すること	42
	材料のクレーム対策に関すること	25
	非破壊検査に関すること	1
環境技術関連	再資源化に関すること	3
	省エネ技術に関すること	44
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	28
	機器操作に関すること	115
	コンピュータ等に関すること	6
	講習会・研究会・鑑評会に関すること	95
	技術アドバイザー指導等に関すること	44
	異業種交流に関すること	41
	法規・規格・表示に関すること	8
	産業情報等の提供に関すること	10
	行政情報等の提供に関すること	58
	その他上記以外の事項	121
小計 (うち実地指導件数)		4,635 (777)

機関名	相談件数 (うち実地指導件数)
本所	15,478(1,819)
北部研究所	4,635 (777)
合計	20,113(2,596)

2.1.2 技術アドバイザー指導事業

県内中小企業等の技術的課題を解決するため、依頼のあった企業に技術アドバイザーを派遣した。その主な成果は、次のとおりである。

- 新規製品の開発について有益な助言が得られた。
- ISO 取得について有益な助言が得られた。
- 工場の省エネについて有益な助言が得られた。
- 生産工程時間の短縮について有益な助言が得られた。
- 社内の生産設備の配置について有益な助言が得られた。

○ 技術アドバイザー指導件数

本所

産業分野	企業数
金属製品製造業	3
生産用機械器具製造業	2
業務用機械器具製造業	2
電気機械器具製造業	2
輸送用機械器具製造業	2
その他の製造業	1
情報サービス業	1
非鉄金属製造業	2
無店舗小売業	1
政治・経済・文化団体	1
プラスチック製造業	1
小計	18

技術指導分野	件数
生産管理	4
認証取得	1
新製品開発	10
経営及び生産管理	2
販売拡大	1
小計	18

北部研究所

産業分野	企業数
食料品製造業	3
繊維工業	1
小計	4

技術指導分野	件数
生産管理	3
新製品開発	1
小計	4

機関名	指導企業数	指導日数
本所	18	89
北部研究所	4	30
合計	22	119

2.1.3 現場改善・製品化支援事業

県内中小企業等の現場改善や製品化における課題を解決するため、依頼のあった企業に専門家を派遣した。その主な成果は、次のとおりである。

- 製造技術上の問題点について有益な助言が得られた。
- 廃棄物の処理に関する有益な助言が得られた。
- 生産設備の稼働条件について有益な助言が得られた。
- 製品の改良について有益な助言が得られた。
- 生産ラインや資材の配置について有益な助言が得られた。

○ 現場改善・製品化支援指導件数

本 所

産 業 分 野	企 業 数
金属製品製造業	3
生産用機械器具製造業	1
電気機械器具製造業	1
輸送用機械器具製造業	1
パルプ・紙・紙加工品製造業	1
家具・装備品製造業	1
プラスチック製品製造業	1
小 計	9

技術指導分野	件数
生産管理	3
新製品開発	5
品質改善	1
小 計	9

北部研究所

産 業 分 野	企 業 数
繊維工業	1
小 計	1

技術指導分野	件数
生産管理	1
小 計	1

機 関 名	指導企業数	指導日数
本 所	9	39
北部研究所	1	10
合 計	10	49

2.2 依頼試験

企業からの依頼に応じて、製品や部品、材料等の試験、測定、分析などを実施した。

2.2.1 依頼試験

本所で依頼試験件数の多かった項目は、機器分析、強度試験及び精密測定であった。北部研究所では、強度試験、機器分析及び精密測定であった。

本所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	271	549,650
	機器分析	5,538	31,839,170
材料試験	強度試験	3,322	3,664,800
	物理試験	203	795,760
	組織試験	1,477	5,165,540
	耐候性試験	331	2,943,900
	表面処理試験	1,310	4,648,360
測定及び検査	精密測定	2,281	5,696,430
	EMC測定	73	661,430
	非破壊検査	83	556,100
調製	試験片調製	852	659,010
立会試験		1	1,270
その他依頼試験		2,752	11,463,620
オーダー試験		29	319,650
試験成績書の複本		5	1,300
写真の焼増し又はカラー複写		25	9,750
小 計		18,553	68,975,740

北部研究所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	317	290,120
	機器分析	397	1,665,030
材料試験	強度試験	694	562,310
	物理試験	246	317,320
	組織試験	44	44,000
	表面処理試験	174	957,840
	染色堅ろう度試験	315	219,040
測定及び検査	精密測定	359	1,274,480
微生物試験	生菌数の測定	3	4,260
官能試験	温度設定のない試験	3	780
調製	試験片調製	89	65,610
その他の依頼試験		644	2,466,490
オーダー試験		10	180,000
成績書の複本		1	260
小 計		3,296	8,047,540

機 関 名	件 数	金額(円)
本所	18,553	68,975,740
北部研究所	3,296	8,047,540
合 計	21,849	77,023,280

2.2.2 放射線測定依頼試験

平成23年3月の福島第一原子力発電所の事故発生により、放射能汚染の風評被害が工業製品にも起きた。風評被害に対応するため、平成23年度より工業製品の放射線測定の依頼試験を行っている。

検査対象	検査内容	検査実施場所	測定単位
1検体の一辺の大きさ80cm以内、重量30kg以内の工業製品(個体工業製品に限る)	サーベイメータによる製品表面の放射線量測定	本所	Cpm
			μ Sv/h
		北部研究所	Cpm
			μ Sv/h

機関名	件数	検体数
本所	22	98
北部研究所	20	112
合計	42	210

2.2.3 試験所の登録

当センターは、独立行政法人製品評価技術基盤機構において、工業標準化法の規定に基づく製品試験を行う者(試験所)を対象とした登録制度に登録されている。

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	登録年月日
燃焼－赤外線吸収法	試験方法規格 JIS G 1211-3 [適用範囲 0.040% \leq C \leq 4.00%]	平成20年8月1日
ロックウェル硬さ試験	試験方法規格 JIS Z 2245[適用範囲 20HRC \leq ロックウェル硬さ \leq 60HRC]	平成20年8月1日
金属材料引張試験	試験方法規格 JIS Z 2241 [適用範囲 12 kN \leq 試験力 \leq 200 kN]	平成21年7月23日
蛍光X線分析	試験方法規格 JIS G 1256 [試験範囲(単位:%(m/m)) 低合金鋼 0.01 \leq Mn \leq 2.00 0.01 \leq Ni \leq 3.80 0.01 \leq Cr \leq 4.50 0.01 \leq Mo \leq 1.20 ステンレス鋼 0.10 \leq Mn \leq 7.50 0.25 \leq Ni \leq 24.0 8.00 \leq Cr \leq 22.5 0.02 \leq Mo \leq 3.80]	平成21年7月23日

2.3 機器開放

企業の研究開発を支援するため、試験研究機器の開放及び操作技術の認定研修を実施した。

2.3.1 機器開放

企業が利用できる機器は、設計・加工機器、表面観察機器、強度試験機器、精密測定機器、測定機器、試料調整機器、電気・電子測定機器、評価試験機器、分析機器に分類されている。機器の総数は、合計 190 機器である(平成 26 年 3 月末現在)。

本所で特に利用件数の多かった機器は電波暗室電磁波試験測定装置、次いでシールドルーム電磁波試験測定装置、電磁波障害対策室電磁波試験測定装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで、冷熱衝撃試験機、複合サイクル試験機の順であった。

北部研究所で利用件数の多かった機器は波長分散型蛍光X線分析装置、万能材料試験機(10kN)、自記分光光度計の順であった。利用時間として最も多かった機器は、冷熱衝撃試験機、次いで恒温恒湿槽、真空凍結乾燥機の順であった。

分類別の利用総額と利用件数及び利用時間は次のとおりであった。指導時間は、開放機器を使用する際の有料による指導の時間数である。

本所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	3,063,950	303	1,985	2,449,950	235	564,000
表面観察機器	315,300	182	679	296,100	8	19,200
強度試験機器	557,350	279	636	254,950	126	302,400
精密測定機器	2,600,860	489	1,916	1,309,660	538	1,291,200
測定機器	1,216,220	521	1,950	760,220	190	456,000
試料調製機器	844,570	72	3,938	844,570	10	24,000
電気・電子測定機器	30,545,000	1,146	4,137	25,334,600	2,171	5,210,400
評価試験機器	15,030,300	237	29,183	14,996,700	14	33,600
分析機器	1,885,070	284	745	1,834,670	21	50,400
小計	56,082,620	3,513	45,169	48,131,420	3,313	7,951,200

北部研究所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	31,880	29	58	27,080	2	4,800
表面観察機器	35,710	14	19	4,510	13	31,200
強度試験機器	268,880	134	382	153,680	48	115,200
精密測定器	367,790	78	253	228,590	58	139,200
測定機器	63,670	70	310	51,670	5	12,000
試料調製機器	344,190	30	822	329,790	6	14,400
評価試験機器	3,829,670	81	9,219	3,433,670	165	396,000
分析機器	727,200	203	791	633,600	39	93,600
小計	5,668,990	639	11,854	4,862,590	336	806,400

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
本所	56,082,620	3,513	45,169	48,131,420	3,313	7,951,200
北部研究所	5,668,990	639	11,854	4,862,590	336	806,400
合計	61,751,610	4,152	57,023	52,994,010	3,649	8,757,600

(利用総額:利用金額と指導金額の合計)

2.3.2 機器操作技術認定研修

試験研究機器を利用するに当たり、一定の操作技術が必要なものは研修を実施し、認定証を発行した。

研修日数・参加人数(本所)	144日・242人
研修日数・参加人数(北部)	14日・33人

2.4 技術普及業務

2.4.1 SAITEC 研究発表会

平成 24 年度のセンターの研究成果及び様々な技術支援を紹介するとともに、大学等他機関からの研究や支援情報などの発表を加え、新たな技術や支援など幅広い情報提供を行った。

開催日：平成 25 年 10 月 2、3 日(水、木)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：114 名

内容：

- (1) 研究成果発表 16 テーマ(他都県、大学等からの発表を含む)[内容は 3.4.1 項を参照]
- (2) ポスター展示
 - SAITEC 平成 24 年度研究成果 7
 - SAITEC 支援事例 2
 - 他都県の研究成果 5
 - 貸研究室の紹介 3
 - 貸研究室入居企業 2
 - 特許紹介 5
- (3) 講演
 - テーマ 「QCD向上を実現する、3Dプリンターの活用事例」
 - 講師 イグアス株式会社
 - テーマ 「人にやさしい製品づくりのためのヒューマンインターフェイス技術」
 - 講師 埼玉大学大学院 教授 綿貫 啓一 氏
- (4) 3D造形関連セミナー
 - テーマ 「ものづくりNIPPONの復興！「第三の産業革命」をリードする設計ソリューションとは？」
 - 講師 キヤノンシステムアンドサポート株式会社
 - テーマ 「製造業の財産！設計情報を守る為には・・・」
 - 講師 キヤノンITソリューションズ株式会社
- (5) 施設見学会
 - 参加者 78 名
 - 見学場所 ①3Dプリンター
 - ②電波暗室、表面解析機器、化学分析装置

2.4.2 SAITEC 研究発表会(熊谷会場)

埼玉県産業技術総合センターの研究テーマを発表した。併せて、ソフトスチーム技術に関する講演会を開催した。

開催日：平成 25 年 10 月 11 日(金)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：94 名

内容：SAITEC 研究発表、フォーラム及び展示

- (1) 研究成果発表 5 テーマ[内容は 3.4.1 項を参照]
- (2) フォーラム
 - 食品加工の今後の展望 ～埼玉発の製販一体となった取り組み～
 - ① ソフトスチームとは 早稲田大学 先端生産システム研究所 顧問 河合 素直 氏
 - ② ソフトスチーム技術紹介 埼玉県産業技術総合センター 担当部長 関根 正裕
 - ③ ソフトスチームの実用化事例 (株)TML 代表取締役社長 山川 裕夫 氏
 - ④ ソフトスチームの事業化支援 (公財)埼玉県産業振興公社
 - 生活サポート産業支援コーディネーター 平沼 大二郎 氏
- (3) 展示等 ソフトスチームに関する展示やソフトスチーム加工食品の試食

2.5 次世代自動車支援事業の運営支援

次世代自動車に対し県内中小企業の新規参入や既存企業の技術転用を促進するため、(財)埼玉県産業振興公社が自動車産業部会を組織したが、その中の各研究会を公社が運営する際、各研究会等の開催に対し当センターが支援を行った。具体的には、各研究会に対し下記のとおり担当者を決めて活動した。

2.5.1 部会及び各研究会参加企業数

(1) 自動車産業部会

部会	参加企業数	時点
自動車産業部会	115社	H26.3.31

(2) 自動車産業部会内の各研究会

研究会	参加企業数	時点
モーター関連技術研究会	13社	H26.3.31
パワーエレクトロニクス研究会	14社	H26.3.31
軽量化研究会	17社	H26.3.31
現場力強化研究会	8社	H26.3.31
車両分解研究会	25社	H26.3.31

2.5.2 研究会等の名称及び担当者一覧表

研究会等		担当者
窓口		影山 和則、巻島 秀男
技術開発領域	モーター関連技術研究会	荻野 重人、栗原 英紀、島崎 景正
	パワーエレクトロニクス研究会	鈴木 浩之、森田 寛之
	軽量化研究会	小熊 広之
	車両分解研究会	島崎 景正、内藤 理恵
製造技術領域	現場力強化研究会	巻島 秀男、唐牛 聖文

2.5.3 各研究会の概要

(1) モーター関連技術研究会

年月日	内容	開催場所	参加社数	参加人数
H25.6.19	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	7	9
H25.9.4	第2回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	9	14
H25.12.4	第3回研究会(パワーエレクトロニクス研究会と合同)	埼玉県産業技術総合センター	9	15
H26.2.19	第4回研究会(パワーエレクトロニクス研究会と合同)	新都心ビジネス交流プラザ	7	10

(2) パワーエレクトロニクス研究会

年月日	内容	開催場所	参加社数	参加人数
H25.6.19	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	9	16
H25.9.4	第2回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	9	15
H25.12.4	第3回研究会(モーター関連技術研究会と合同)	産業技術総合センター	9	15
H26.2.19	第4回研究会(モーター関連技術研究会と合同)	新都心ビジネス交流プラザ	7	10

(3) 軽量化研究会

年月日	内容	開催場所	参加社数	参加人数
H25.4.24	第1回講演会	新都心ビジネス交流プラザ	6	11
H25.12.18	第2回講演会	新都心ビジネス交流プラザ	17	25

(4) 現場力強化研究会

年月日	内容	開催場所	参加社数	参加人数
H25.7.26	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	7	28
H25.9.27	第2回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	7	28
H25.12.13	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	7	28
H26.2.14	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	7	26

(5) 車両分解研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H25.7.22～8.2	トヨタ「アクア」分解部品一般公開	埼玉県産業技術総合センター	-	622
H25.10.22～23	試乗体験会	埼玉自動車大学校	10	23
H25.11.7～8	発足会・分解作業見学会	埼玉県自動車大学校	27	64
H25.11.27	車両分解研究会・基調講演会	埼玉県産業技術総合センター	79	132
H25.11.27	ホンダ「フィット」分解部品一般公開	埼玉県産業技術総合センター	-	243
H26.2.28	車両分解研究会・最終報告会	新都心ビジネス交流プラザ	17	30

2.5.4 講演会・セミナー

年月日	演 題	講 師	開 催 場 所	参加人数
H25.4.24	1 樹脂複合材料のポテンシャルについて 2 金属代替提案事例	1 東洋樹脂(株) 角田 敦 氏 2 東洋樹脂(株) 風間 均 氏	新都心ビジネス交流プラザ	7
H25.9.18	1 都市の課題と超小型モビリティへの期待 2 ホンダの電動スマートモビリティの開発について 3 乗って楽しい超小型P.M.Vの開発	1 さいたま市環境局 土屋 愛自 氏 2 (株)本田技術研究所 澁川 岳郎 氏 3 東洋パーツ(株) 小菅 哲也 氏	埼玉県産業技術総合センター	81
H25.11.27	新型フィットの開発コンセプトとハイブリッド・システム技術の紹介	(株)本田技術研究所 小西 真 氏 国包 輝誠 氏	埼玉県産業技術総合センター	95
H25.12.18	プレス成形における高張力鋼板適用の課題と対策技術	(独)理化学研究所 高村 正人 氏	新都心ビジネス交流プラザ	23
H26.1.21	自動車の技術動向と部品メーカーの取り組み	(社)日本自動車部品工業会 松島 正秀 氏	(株)自動車部品会館	37
H26.1.30	夢ROBOから新たな未来を切り開く取り組み	マッスル株式会社 玉井 博文 氏	さいたまスーパーアリーナ	332
H26.3.7	生産のモジュール化から企画・設計のモジュール化へ	広島市立大学大学院国際学研究所 岩城 富士大 氏	新都心ビジネス交流プラザ	32
H26.3.12	1 電気自動車用充電インフラの現状と今後の展望 2 EV/PHV充電インフラの現状と課題 3 非接触給電への期待(要求技術、小型化、双方向技術)	1 日産自動車(株) 筒本 直哉 氏 2 日本電気(株) 小山 俊充 氏 3 埼玉大学大学院 金子 裕良 氏	新都心ビジネス交流プラザ	43

2.6 技術講習会、講演会の開催

本 所(主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H25.4.3	第1回埼玉県鑄物技術委員会	川口鑄物工業協同組合	・埼玉県鑄物技術講演会・鑄物技術講習会の企画 ・第49回埼玉県鑄造技術コンクール開催要綱の決定 ・第2回鑄造技術コンクール(非鉄)の開催検討等	15
H25.4.3	第540回埼玉県鑄物技術講演会	川口鑄物工業協同組合	「鑄鉄鑄物の鑄造欠陥とその対策」 岐阜大学 イノベーション創出若手人材育成センター 特任教授 岩堀 弘昭 氏	36
H25.4.19	品質工学フォーラム 埼玉総会、講演会	埼玉県産業技術総合センター	「不況時の人材育成と開発効率」 新電元工業(株) 金本 良重 氏	30
H25.5.8	第49回埼玉県鑄造技術コンクール説明会	川口鑄物工業協同組合	・実施概要・採点要領について 埼玉県産業技術総合センター 主任 菊池 和尚 ・課題の凝固解析事例について 埼玉県産業技術総合センター 主任研究員 永井 寛	30
H25.5.17	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	8
H25.6.5～ 6.7	第228回埼玉県鑄物技術講習会	川口鑄物工業協同組合	全体テーマ「技能検定のための鑄造技術の基礎知識」 Part I (一社)日本鑄造協会 技術顧問 納谷 喜郎 氏 Part II ものづくり大学 教授 鈴木 克美 氏 Part III (株)永瀬留十郎工場 技術顧問 永瀬 勇 氏	105
H25.6.28	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	11
H25.7.10	第2回埼玉県鑄物技術委員会	川口鑄物工業協同組合	・埼玉県鑄物技術講演会・鑄物技術講習会の企画 ・第49回埼玉県鑄造技術コンクールの実施状況 ・第2回鑄造技術コンクール(非鉄)の開催決定等	15
H25.7.10	第541回埼玉県鑄物技術講演会	川口鑄物工業協同組合	「SEM/EDSによる鑄造欠陥の解析 —あくなき“鑄物づくりへの探求”—」 川口鑄物工業協同組合 技術顧問 五十嵐 芳夫 氏	55
H25.7.19	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	11
H25.7.26	第1回EMCノイズ対策講習会	埼玉県産業技術総合センター	「ノイズ対策部品の基礎知識」 「ノイズ原因の究明と対策」 星和電機株式会社 課長 樋口 太郎 氏	5

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H25.9.4～ 9.6	第229回埼玉県鋳物技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	全体テーマ「鋳物のCAE解析のための3次元CAD入門」 ・9月4日 「3次元CAD(SolidWorks)の基礎」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏 ・9月5日 「3次元CADを利用した鋳造方案作成演習1ー平成23年度の鋳造コンクール課題を例としてー」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏 ・9月6日 「3次元CADを利用した鋳造方案作成演習2ー受講者が考案した鋳造方案形状の3次元データ化ー」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏	15
H25.9.20	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	8
H25.10.2～ 10.3	SAITEC研究発表会	埼玉県産業技術総合センター	平成24年度SAITECの研究発表、研究成果ポスター等展示 講演会、施設見学会	114
H25.10.9	第3回埼玉県鋳物技術委員会	川口鋳物工業協同組合	・埼玉県鋳物技術講演会・鋳物技術講習会の企画 ・第49回埼玉県鋳造技術コンクールの結果と講評会及び表彰式について ・第50回埼玉県鋳造技術コンクールの検討	15
H25.10.9	第542回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	「アルミニウム合金鋳物及びマグネシウム合金鋳物の砂型低圧鋳造技術について」 福田技術事務所 代表 福田 昭司 氏	33
H25.10.18	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	10
H25.11.14	第7回ものづくり講演会	埼玉県産業技術総合センター	「社長の夢をかなえる経営～社長の夢の見える化」 トーマツイノベーション(株) 白潟 敏朗 氏 他 会員等からの発表2件	25
H25.11.15	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	9
H25.11.15	第49回埼玉県鋳造技術コンクール表彰式及び講評会	埼玉県産業技術総合センター	講評会講師 鋳物技術委員 納谷 喜郎 氏 表彰式 埼玉県産業技術総合センター センター長 牟田口 照恭 他	50

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H25.12.4～ 12.5	第230回埼玉県鑄物技術講習会	川口鑄物工業 協同組合	全体テーマ「鑄鉄の溶解技術の基礎知識」 ・12月4日 「鑄鉄のキュボラ溶解の基礎知識」 川口鑄物工業協同組合 技術顧問 山中 昇 氏 ・12月5日 「鑄鉄の誘導炉溶解の基礎知識」 ものづくり大学 教授 鈴木 克美 氏	84
H25.12.13	品質工学講演会	埼玉県産業技術 総合センター	「MTシステムのススメ」 (株)アマノ 鈴木 真人 氏	20
H26.1.17	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術 総合センター	事例発表、事例相談	9
H26.1.29	第56回埼玉県めっき技術競技会表彰式	プリランテ武蔵野	講評 埼玉県鍍金工業組合 技術顧問 山崎 健次 氏	46
H26.2.13	第4回埼玉県鑄物技術委員会	川口鑄物工業 協同組合	・埼玉県鑄物技術講演会・鑄物技術講習会の企画 ・第50回埼玉県鑄造技術コンクールの検討 ・第2回鑄造技術コンクール(非鉄)の結果 ・H26年度埼玉県鑄物技術委員会について	12
H26.2.13	第543回埼玉県鑄物技術講演会	川口鑄物工業 協同組合	「金属3Dプリンティング技術の最前線」 東北大学 金属材料研究所 教授 千葉 晶彦 氏	40
H26.2.21	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術 総合センター	事例発表、事例相談	7
H26.3.5 3.7 3.10	第231回埼玉県鑄物技術講習会	川口鑄物工業 協同組合	全体テーマ「CV黒鉛鑄鉄品のJIS化と材質及びその製造技術」 ・3月5日 「CV黒鉛鑄鉄品のJIS制定と規格内容」 (一社)日本鑄造協会 技術顧問 納谷 喜郎 氏 ・3月7日 「CV黒鉛鑄鉄品の製造技術」 (株)豊田自動織機 シニアスタッフ 三木 周平 氏 ・3月10日 「CV黒鉛処理と品質管理技術」 (有)日下レアメタル研究所 取締役技術部長 鹿毛 秀彦 氏	59
H26.3.14	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術 総合センター	事例発表、事例相談	9
H26.3.26	第2回 EMC ノイズ対策講習会	埼玉県産業技術 総合センター	「ノイズ対策部品の基礎知識」 「ノイズ原因の究明と対策」 星和電機株式会社 課長 樋口 太郎 氏	5

本 所(支援事業)

年月日	名 称	会 場	支 援 内 容 等	参加人数
H25.5.21	埼玉県ものづくり研究会 総会・講演会	大宮ソニックシティ	・通常総会 ・講演会 「大学研究室の上手な使い方:開発型中 小企業との協同研究を事例として」 芝浦工業大学 デザイン工学部デザイン工学科 教授 相澤 龍彦 氏	25
H25.5.24	埼玉県熱処理技術研究 会総会及び記念講演会	埼玉県産業技術 総合センター	総会、講演会 「非破壊試験の原理と応用 -特に渦電流試験の応用例について-」 日本大学生産工学部 電子工学科教授 工学博士 小井戸 純司 氏	23
H25.6.13 6.20 6.27 7.3	熱処理技術講習会	川越高等技術専門 校	熱処理の社員教育 熱処理技術研究会役員 他	延べ29
H25.6.26～ 6.27	第12回鋳鉄品の超音 波試験技術者養成講 習会	埼玉県産業技術 総合センター	・「非破壊検査総論」 埼玉大学名誉教授 加藤 寛 氏 ・「鋳鉄品の強度評価」 北海道大学名誉教授 野口 徹 氏 ・「鋳鉄の超音波試験Ⅰ・Ⅱ」 (有)日下レアメタル研究所 取締役 鹿毛 秀彦 氏 ・「超音波試験の基礎」 (一社)日本非破壊検査工業会 後河内 薫 氏 ・「実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 (一社)日本非破壊検査工業会 森 繁樹 氏 (地独)東京都立産業技術研究センター 渡部 友太郎 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛	18
H25.10.18	実践型熱処理技術講 習会	埼玉県産業技術 総合センター	『金型鋼材とその熱処理・表面硬化技術 について』 「金型用鋼材とその特性について」 大同鉄鋼(株) 工具鋼事業部 増田 哲也 氏 「金型の焼き入れ技術について」 (株)上島熱処理工業所 顧問 鶴見 州宏 氏 「ガス窒化処理技術について」 パーカーS・N工業(株) 技術部長 星野 薫 氏 「金型への表面改質処理について」 松山技研(株) (取)技術開発室長 野村 博郎 氏	55

年月日	名 称	会 場	支 援 内 容 等	参加人数
H25.11.21～ 11.22	第13回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「非破壊検査総論」 埼玉大学名誉教授 加藤 寛 氏 ・「鋳鉄品の強度評価」 北海道大学名誉教授 野口 徹 氏 ・「鋳鉄の超音波試験 I・II」 (有)日下レアメタル研究所 取締役 鹿毛 秀彦 氏 ・「超音波試験の基礎」 (一社)日本非破壊検査工業会 後河内 薫 氏 ・「実習 I・II・III」 (一社)日本非破壊検査工業会 森 繁樹 氏 (地独)東京都立産業技術研究センター 渡部 友太郎 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛 	16
H26.1.27～ 1.31	鋳造カレッジ・インターンシップ	埼玉県産業技術総合センター	<p>1/27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「CE値と冷却曲線及び凝固」 早稲田大学名誉教授 中江 秀雄 氏 ・「溶解実験概要及び溶解材料配合計算法」 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛 ・「炉前試験及び組織観察法」 (公社)日本鋳造工学会 野口 昌彦 氏 ・「造型実習」 埼玉県産業技術総合センター 笹川 俊夫 永井 寛 菊池 和尚 <p>1/28</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「化学成分分析法の原理」 埼玉県産業技術総合センター 鈴木 昌資 ・「溶解実習」 埼玉県産業技術総合センター 増田 伸二 笹川 俊夫 永井 寛 菊池 和尚 永野 正明 篠崎 誠 井上 裕之 秋山 稔 <p>1/29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「非破壊試験実習」 (公社)日本鋳造工学会 野口 昌彦 氏 電子磁気工業(株) 大矢 和彦 氏 	100

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
H26.1.27～ 1.31	鑄造カレッジ・インター ンシップ(続き)	埼玉県産業技術 総合センター	埼玉県産業技術総合センター 永井 寛 菊池 和尚 東芝電力検査サービス(株) 坂代 一郎 氏 (有)日下レアメタル研究所 鹿毛 秀彦 氏 (地独)東京都立産産産業技術研究 センター 渡部 友太郎 氏 1/30 ・「材料試験実習」 埼玉県産業技術総合センター 澁谷 康彦 矢澤 貞春 廣島 啓太 ・「顕微鏡組織観察実習」 早稲田大学材料技術研究所 安井 純一 氏 (公社)日本鑄造工学会 野口 昌彦 氏 川口鑄物工業協同組合 五十嵐 芳夫 氏 吉田 幸弘 氏 増田 多孝 氏 伊藤鉄工(株) 来栖 直樹 氏 埼玉県産業技術総合センター 永野 正明 篠崎 誠 秋山 稔 細見 喜洋 1/31 ・「鑄造品の不良解析事例」 埼玉県産業技術総合センター 井上 裕之 ・「まとめと発表」 (一社)日本鑄造協会 北澤 幸廣 氏 富澤 達 氏 石原 安興 氏 早稲田大学名誉教授 中江 秀雄 氏 川口鑄物工業協同組合 五十嵐 芳夫 氏 (公社)日本鑄造工学会 野口 昌彦 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛 伊藤鉄工(株)	
H26.3.6	埼玉県ものづくり研究 会 工場見学会	(株)シミズタイム 碌々産業(株)	工場見学	11
H26.3.7	熱処理発表会	埼玉県産業技術 総合センター	「熱伝導水素センサの各種熱処理への 応用」 オリエンタルエンジニアリング(株) 研究開発部・研究室 清野 裕太 氏	34

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
H26.3.7	熱処理発表会(続き)	埼玉県産業技術総合センター	「トヨタ生産方式導入による現場改善」 (株)オーネックス 東松山工場次長 石松 孝明 氏 「日本刀の組織と硬さ」 山方技術士事務所 山方 三郎 氏	

北部研究所(主催事業)

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H25.6.5	埼玉県米菓研究会講習会	新都心ビジネスプラザ	「これからのメンタルヘルスケア」 社会保険労務士法人 あおば労務経営事務所 給与コンサルタント 阿久津 渉 氏	22
H25.6.18	市販清酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	「日本酒初心者女性向け清酒」 官能審査及び講評 関東信越国税局 本村 創 氏 能勢 雅樹 氏 彩の国酒造り学校校長 大橋 勝 氏 学識経験者 山田 和男 氏 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 増田 こずえ 主任研究員 横堀 正敏 講演 「日本酒初心者女性に向けた清酒について」 関東信越国税局 本村 創 氏 「ガス入り清酒について」 きた産業(株) 渡辺 拓也 氏 「比重測定とアルコール分測定」 京都電子工業(株) 藤野 譲 氏	57
H25.9.10	清酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	出品点数 吟醸酒の部 53点(15場) 純米酒の部 28点(16場) 清酒審査講評 関東信越国税局 松本 健 氏 藤田 大輔 氏 学識経験者 大橋 勝 氏 山田 和男 氏 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 増田 こずえ 主任研究員 横堀 正敏	24
H25.10.11	SAITEC北部研究所研究発表会(熊谷会場)	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	フォーラム「食品加工の今後の展望～埼玉発の製販一体となった取り組み～」 早稲田大学先端生産システム研究所 顧問 河合 素直 氏 (株)T.M.L代表取締役社長 山川 裕夫 氏 他	94
H25.10.29	第10回埼玉北部地域技術交流会	埼玉工業大学	「安全と環境」そして新技術の創出～アイサイト～ 富士重工業(株)スバル技術研究所・スバル技術本部担当部長 樋渡 穰 氏	145
H25.11.8	米菓研究会秋の勉強会	新都心ビジネスプラザ	「苦情対応の基本 “悪質クレマーの見分け方”」 日本菓子BB協会 常務理事 有江 龍一 氏	19

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H25.12.17	吟醸酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	パネルディスカッション 「吟醸酒造りの要点」 進行 杜氏会会長 柿沼 和洋 氏 講演 「埼玉県内各社の平成24酒造年度全国新 酒鑑評会審査結果平均値より」 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 主任研究員 横堀 正敏	14
H26.3.5	食品セミナー	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「小麦粉の性質に基づいたパンと麺の科 学」 工学院大学教授 山田 昌治 氏	47
H26.3.14	杜氏酒造研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「吟醸酒の管理と出品について」 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 主任研究員 横堀 正敏	24
H26.3.25	新酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	出品点数 41点(15場) 清酒審査講評 関東信越国税局 北山 賀隆 氏 学識経験者 大橋 勝 氏 山田 和男 氏 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 増田 こずえ 主任研究員 横堀 正敏 技師 鈴木 康修	15

注)米菓研究会、市販清酒研究会、清酒研究会、吟醸酒研究会、杜氏研究会、新酒研究会については、
¥5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)に再掲。

2.7 培養酵母の頒布

種 別	本 数	金 額(円)
酒類用酵母	1,465 本	732,500
醤油用酵母	72 本	108,000
合計	1,537 本	840,500

3 研究開発

埼玉県産業技術総合センターでは、県内産業の技術力強化を図るため、社会的ニーズや新技術・新製品の開発や生産システム等の課題に対応した研究開発や企業からの依頼による受託研究等を実施し、研究成果の発表や技術相談・指導等を通じて研究成果の技術移転を行った。

また、研究の計画及び終了段階における外部評価委員による研究評価、外部専門家の客員研究員による研究指導等、研究の効果的・効率的推進に努めた。

3.1 研究開発

3.1.1 政策的研究課題

(1) 政策的研究開発事業(産業支援研究)

本所

- 環境に優しい安価で高性能な電池の開発
～マグネシウム二次電池の実用化可能性検証に係る研究～
- 熱可塑性 FRP の高性能化と高度利用技術に関する研究
～リサイクル性、補修性を有する軽量高強度複合材料に関する研究～
- 熱可塑性 FRP の高性能化と高度利用技術に関する研究
～高周波誘電加熱によるガラス繊維強化ポリプロピレンの接合～
- 電気化学プロファイルによる水質評価解析システムの開発
- オンサイト型ナノインデンターの開発
- MGH 加工法を利用したチタンの鏡面加工に関する研究
- 医療用穿刺針の高品質化に関する研究

北部研究所

- 安心・安全な食品製造工程の管理技術の確立
～食中毒菌の迅速検出技術の開発～
- 県内産小麦を用いた特色のあるパン・麺用小麦粉の開発

(2) 新技術開発推進事業(独創的技術形成研究、技術支援高度化研究)

本所

- BEMS/HEMS の高度化及び CEMS との連携
- FIB を用いたナノレベル電極形成方法の確立
- 白金代替燃料電池触媒の開発
- 白金代替燃料電池触媒の開発 その2
- 精密測定機同士の連携に関する研究
- 高度 FRP リサイクルシステムの開発～混合溶剤による CFRP の化学処理リサイクル～
- 積層造形物の表面処理による高付加価値化
- 各種ステンレス鋼の耐食性データベースの作成

北部研究所

- 高温もろみ対応清酒酵母の開発
- 流動性材料に対する水蒸気透過度測定方法の検討
- 接着剤・粘着剤の水蒸気透過性評価
- 微量血液検査機器における検査方法の評価

(3) 競争的資金による研究開発等

①受託研究

- [戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]
 - 硬質六価クロムめっきに代わる微粒子分散複合めっき技術の開発
 - 金属粉末成形用の金型潤滑油と塗布システムの開発
- [研究成果最適展開支援事業(A-STEP) FS ステージ シーズ顕在化(独)科学技術振興機構(JST)]
 - 1時間以内で個別最適化した手術を完了できる人工関節手術ナビゲーションシステムの臨床用試作の開
- [研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) 実用化挑戦ステージ 実用化挑戦タイプ 中小・ベンチャー開発 (独)科学技術振興機構(JST)]
 - バイオハザード迅速検出システム
- [研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)の産学共同促進ステージ ハイリスク挑戦タイプ

○1 時間以内で個別最適化した手術を完了できる人工関節手術ナビゲーションによる3D手術支援サービスの実用化

[平成 25 年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業]

○高アミロース米のダイレクト糊化による低コスト高付加価値食品の開発

②その他の支援

[平成 24 年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金) (独)日本学術振興会]

○難削材への微細深穴加工のための三次元低周波加振技術の開発

[戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]

○世界初の中間酸化膜による新型 ND フィルター及び一体型 NDIR カットフィルターの開発

[平成 25 年度新事業活動・農商工連携等促進支援補助金]

○熱伝導性を活かした軽くて保温・保冷性が高い鍋などのアルミ鋳物キッチンウェアの開発と販売

(4) その他

[地域産業活性化支援事業(招へい型) (独)産業技術総合研究所]

○新規酵母を用いた含デンプン質排水の効率的処理技術と有効資源化

3.1.2 受託研究

(1) 企業からの受託研究

	件数	金額 (円)
本所	31	8,789,800
北部研究所	13	3,052,500
計	44	11,842,200

(2) 外部競争的資金による受託研究

	件数	契約額 (円)
本所	4	1,871,750
北部研究所	1	450,000
本所・北部	1	7,800,000
計	6	10,121,750

3.2 研究開発および技術支援による実用化・商品化

(1) 農産物のラベルと販売容器のデザイン開発

(2) 洋菓子の商品企画とパッケージデザイン

(3) 手ぬぐいの商品企画

(4) イメージキャラクターと広告デザイン

(5) ジャム容器のラベルデザイン

(6) ブランド米のパッケージデザイン

(7) エゴマ残渣の醗酵による新規食品の開発

(8) 雛人形の LED バックライトの開発

(9) ピクチャー塗装を施した木製パーティションの開発

(10) 熱伝導率の向上と軽量化した鋳造アルミ鍋の開発

(11) 地域ブランドとなる高級竹和釣竿の開発

(12) 集じん機付き研磨機の耐騒音、小型軽量化のための樹脂製ファンの設計

(13) 表面品質が向上した医療用穿刺針の開発

(14) 高演色性フィルターによる防水小型LEDモジュール(光源)の開発

(15) 自動パック制御システムによる災害、医療、福祉用簡易トイレの開発

(16) 秋田雄勝の桐材と春日部桐箱のフードストッカー、テーブル、椅子等の開発

(17) 秩父銘仙の着尺、和装小物・袋物等の開発

(18) 日常生活用品のコンセント等の開発

3.3 客員研究員

外部の専門家・有識者を当所の客員研究員として依頼し、当所が進める各分野の研究に対して助言指導を受けた。

客員研究員		指導分野	指導日数
元(独)産業技術総合研究所	近森 邦夫 氏	生産関連	3
埼玉大学	角田 敦 氏	生産関連	3
工学院大学	山田 昌治 氏	バイオ関連	3
東京農業大学	野口 智弘 氏	バイオ関連	1
4名		2分野	10

3.4 研究成果の公表

3.4.1 センター主催の発表

本所

SAITEC 研究発表会（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第 11 巻』）

年月日	研究題目	発表者名
H25.10.2 ～10.3	ステンレス鋼の六価クロムフリー電解研磨技術の開発	機械技術担当 出口 貴久
	高アスペクト比微細深穴加工に関する研究	機械技術担当 南部 洋平
	ピエゾ素子を用いた高推力リニアモータの開発	電気・電子技術担当 荻野 重人
	熱可塑性FRPの高性能化と高度利用に関する研究～ リサイクル性、補修性を有する軽量高強度複合材料に関する研究	機械技術担当 小熊 広之
	熱可塑性FRPの高性能化と高度利用に関する研究～ 高周波誘電加熱によるポリプロピレンの接合	化学技術担当 佐野 勝

北部研究所

SAITEC 研究発表会（熊谷会場）（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第 11 巻』）

年月日	研究題目	発表者名
H25.10.11	食中毒菌の迅速検出技術の開発	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
	県産ねぎを使った新規加工食品の開発	食品・バイオ技術担当 樋口 誠一
	新規減塩漬物の開発	食品・バイオ技術担当 鶴岡 大
	高温もろみ対応清酒酵母の開発	食品・バイオ技術担当 横堀 正敏
	県産小麦の新規ブレンド粉の開発	食品・バイオ技術担当 小島 登貴子

3.4.2 学会等への発表(国際会議含む)

本 所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H25.4.21	オゾン酸化処理による炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の力学特性向上	小熊 広之	日本医療・環境オゾン学会	
H25.5.22	連続炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の力学特性向上(第2報)	小熊 広之	第24回プラスチック成形加工学会年次大会	
H25.6.20	熱可塑性炭素繊維複合材料の力学特性向上	小熊 広之	東京都立産業技術研究センター研究発表会	
H25.7.1	超音波振動を援用した高アスペクト比微細穴加工	南部 洋平		砥粒加工学会誌 第57巻 第7号
H25.8.22	携帯端末を利用した座位姿勢計測器の開発	鈴木 浩之 半田 隆志 本多 春樹	第28回リハ工学カンファレンス	第28回リハ工学カンファレンス講演論文集
H25.8.22	キネクトを用いた座位姿勢計測システムの開発と臨床応用ガイド	半田 隆志	第28回リハ工学カンファレンス	第28回リハ工学カンファレンス講演論文集
H25.9.2	人工関節置換術のための、新しい3次元ナビゲーションシステムの開発	半田 隆志	生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会	
H25.9.4	車いす上褥瘡予防監視システムの開発	半田 隆志	生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会	
H25.9.12	超磁歪素子によるXYステージの開発	荻野 重人	2013年度精密工学会秋季大会学術講演会	2013 精密工学会秋季大会講演論文集
H25.9.13	毒劇物を用いないステンレス鋼の電解研磨(第2報)	出口 貴久	2013年度精密工学会秋季大会	2013 精密工学会秋季大会講演論文集
H25.9.19	High-frequency Welding of Polypropylene using Dielectric Ceramic Compounds in Composite Adhesive Layers	Masaru Sano Hiroyuki Oguma Masahiro Sekine		International Journal of Adhesion & Adhesives, 47(2013)57-62
H25.9.20	鋳鉄品の技術相談とその解析事例—埼玉県産業技術総合センターにおける技術相談から—	永井 寛	日本ダクタイル鋳鉄協会 平成25年度秋季技術講演会	
H25.9.26	表面改質による熱可塑性炭素繊維複合材料の力学特性向上	小熊 広之	第38回 複合材料シンポジウム	
H25.10.25	表面改質による連続炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の力学特性向上	小熊 広之	58th FRP CON-EX2013講演会	
H25.10.25	超磁歪素子によるXYステージの開発	荻野 重人	平成25年度神奈川県産業技術センターものづくり技術交流会	平成25年度神奈川県産業技術センターものづくり技術交流会要旨集
H25.11.5	Development and Evaluation of New Version of Seated Posture Measurement Tool	Takashi Handa	4 th European Seating Symposium	
H25.11.16	キネクトを用いた座位姿勢計測システムにおける、身体ランドマークの推定と詳細化	半田 隆志	第34回バイオメカニズム学術講演会	
H25.11.23	キネクトセンサを用いた座位姿勢計測システムの開発	半田 隆志	第9回日本シーティング・シンポジウム	
H25.11.28	オゾンを利用した炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の強度向上	小熊 広之	オートモーティブ・コンポジット研究会	

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H25.12.12	携帯端末を利用した座位姿勢計測器の開発	鈴木 浩之 半田 隆志 本多 春樹	電子情報通信学会 第71回 福祉情報工学 研究会	電子情報通信学会技 術研究報告 2013 年 Vol113 No347
H26.1.17	ドリルによる微細深穴加工技術について	南部 洋平	第6回 技能継承フォー ラム(理研シンポジウ ム)	
H26.2.13	オゾン酸化処理による炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の強度向上	小熊 広之	東日本FRP工業会 研 修会	
H26.3.4	Wheelchair Seated Posture Measurement in a Clinical Setting	Takashi Handa	30 th International Seating Symposium	
H26.3.19	低周波振動ドリルによる微細深穴加工	南部 洋平	2014年度精密工学会 春季大会「高付加価値 切削技術」シンポジウ ム	

北部研究所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H25.7.26	麺類の新品質評価技術ーうどんのおいしさとは？ 食感の見える化ー	小島 登貴子	食品ニューテクノロジー 研究会 2013年7月 例会「麺類の新展開」	
H25.7.31	ソフトスチーム加工技術による製品化	常見 崇史	平成25年度千葉県産 業支援技術研究所研 究成果発表会	平成25年度千葉県産 業支援技術研究所研 究成果発表会要旨集
H25.8.28	遺伝子検出による迅速微生物解析技術の開発	富永 達矢	日本食品科学工学会 大会	要旨集
H25.10.4	小麦新品種「さとのそら」の加工特性	小島 登貴子	普及指導員研修 農 業経営高度化研修(農 産物活用)	

3.5 研究課題の評価

3.5.1 事前評価

平成 26 年度の研究計画課題について、課題選定や予算策定の基礎資料とするため、内部委員による内部評価を行った上で、外部専門家を含めた研究評価委員会を開催し、事前評価を行った。

○ 研究評価委員会

外部委員

〈平成 26 年 2 月 20 日開催〉

東洋パーツ(株)

東京電機大学

(独)産業技術総合研究所

埼玉大学

(公財)埼玉県産業振興公社

会長

教授

イノベーションコーディネータ

教授

シニアアドバイザー

小 菅 一 憲 氏

樫 村 幸 辰 氏

山 中 忠 衛 氏

松 本 幸 次 氏

野 口 満 氏

3.5.2 事後評価

平成 25 年度の研究結果について、今後の新しい研究や研究成果の普及の参考とし、さらに効率的研究の推進を図るため、外部委員や内部委員による事後評価を行った。

○ 研究評価委員会

外部委員

〈平成 25 年 5 月 31 日開催〉

東洋パーツ(株)

東京電機大学

(独)産業技術総合研究所

埼玉大学

(公財)埼玉県産業振興公社

会長

教授

イノベーションコーディネータ

教授

シニアアドバイザー

小 菅 一 憲 氏

樫 村 幸 辰 氏

山 中 忠 衛 氏

松 本 幸 次 氏

野 口 満 氏

4 研究開発支援

中小企業の研究開発支援及び産学官連携を推進するため、技術相談や共同研究による企業の支援を行った。また、研究発表会を開催し、SAITEC の研究成果を紹介した。さらに、特許の取得推進とその利用に努めた。

4.1 産学官連携の推進

4.1.1 産学官連携推進について

SAITEC における研究開発について、県内企業等と共同研究を行うなどして連携の推進を図った。外部競争的資金については、次の「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」を除くと、連携により 25 テーマ応募し、10 件の採択を得た。なお、平成 24 年度補正予算「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」については、平成 24 年度から平成 25 年度にかけて公募が 2 回に分けて行われ、第一次公募では合計 68 件の応募で、39 件の採択を得た。

また、SAITEC 研究発表会の開催や、産業交流展など他機関主催の展示会へも積極的に参加し研究等の説明を行った。

さらに、産学連携支援センター埼玉が主催する産学連携ネットワーク会議に参加し、県内工科系大学及び県内金融機関等と産学官連携の情報交換、連携推進を行った。

4.1.2 産学官連携関連展示会(主催事業)

(1) SAITEC 研究発表会

SAITEC の研究成果の展示・発表及び、国・大学等の研究や支援に関する情報提供などを県内企業等に向け行った。

開催日：平成 25 年 10 月 2、3 日(水、木)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：114 名

内容：SAITEC 及び大学、他県公設試験研究機関の研究発表、講演、ポスター展示、施設見学会

- ・ 研究発表等：16 テーマ
- ・ 講演会：テーマ 「QCD向上を実現する、3Dプリンターの活用事例」
講師 イグアス株式会社
テーマ 「人にやさしい製品づくりのためのヒューマンインターフェイス技術」
講師 埼玉大学大学院 教授 綿貫 啓一 氏
- ・ 3D造形関連セミナー：
テーマ 「ものづくりNIPPONの復興！「第三の産業革命」をリードする設計ソリューションとは？」
講師 キヤノンシステムアンドサポート株式会社
テーマ 「製造業の財産！設計情報を守る為には・・・」
講師 キヤノンITソリューションズ株式会社
- ・ 展示等 研究発表を行ったテーマの概要に関するもの

(2) SAITEC 研究発表会(熊谷会場)

食品・バイオ技術などの研究成果を発表するとともに、新しい食品加工技術「ソフトスチーム加工技術」に関するフォーラムを開催した。

開催日：平成 25 年 10 月 11 日(金)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：94 名

内容：SAITEC 研究発表、フォーラム及び展示

- ・ 研究発表等 5 テーマ
- ・ フォーラム：テーマ「食品加工の今後の展望～埼玉発の製販一体となった取り組み～」
講師 早稲田大学先端生産システム研究所顧問 河合 素直 氏
株T.M.L代表取締役社長 山川 裕夫 氏 他 2 名
- ・ 展示等 ソフトスチームに関する展示やソフトスチーム加工食品の試食

(3) 第10回埼玉北部地域技術交流会

65 企業、8 大学、5 金融機関、11 支援機関が出展し、製品紹介、事業紹介、研究成果の展示及び技術相談会等を開催し、参加者との交流を図った。

開催日：平成 25 年 10 月 29 日(火)

会場：埼玉工業大学

技術講演：テーマ 「安全と環境」そして新技術の創出～アイサイト～

講師 富士重工株式会社スバル技術研究所担当部長

兼スバル事業本部技術開発部担当部長 樋渡 穰 氏

出展：89 企業・団体

参加者：716 名

4.1.3 産学官連携に関連する展示会

平成 25 年度は、主催の展示会のみならず、外部機関からの出展依頼のあったものについても積極的に出展した。

平成 25 年度の出展実績は以下のとおりである。

年月日	展示会の名称	開催場所	参加人数
H25.10.2～10.3	SAITEC 研究発表会	埼玉県産業技術総合センター	114
H25.10.11	SAITEC 研究発表会(熊谷会場)	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	94
H25.10.22	コラボレーション交流会	パレスホテル立川	20
H25.10.29	第 10 回埼玉北部地域技術交流会	埼玉工業大学	716
H25.10.30～ 11.1	産業交流展 2013	東京国際展示場	233
H26.1.29～1.30	産学連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	216

4.1.4 SAITEC 内特別チーム

(1) 目的

SAITEC のミッションである「県内企業の振興と発展」の具現化に向けて、状況判断により、組織の枠組みを越えて横断的に運営する。

改廃は状況判断により随時行い、定期的(半年を目途)にそのミッション、メンバーを見直すものとする。承認、発効はセンター長による。

注：proj活動となるが、組織名：戦略プロジェクト推進と混同されるため、特別チームと呼ぶ。(○はリーダーを指す)

(2) SAITEC 内 特別チーム

特別チーム名	発足年月	メンバー	目的と活動実績	終了年月
BEMS/HEMS 注：対外的に Proj と呼ぶ場合あり	H23.1	○森田 寛之 鈴木 浩之 本多 春樹 宮原 進 関根 俊彰	目的：個別技術相談に対応できる職員を育成する。 実績：北部研究所で実証試験を行った。企業へのPRを3件実施した。	H26.3
ソフトウェア	H24.12	○鈴木 浩之 本多 春樹 宮原 進 関根 俊彰	目的：市場規模と参入障壁を考慮して、製品の高付加価値化を支援する。最新動向をとらえ知見を深化する。 実績：モバイル端末が持つセンサーを利用した簡易アプリの試作等を行った。受託研究を3件行った(全体で5件)。	
CAE	H25.4	○宇野 彰一 落合 一裕 佐藤 宏惟 関根 俊彰 鳥羽 遼子	目的：技術開発・試作品製作時間の短縮支援の強化。CAD データを活用した技術支援体制の拡大・整備。 実績：開発製品やクレーム対策前後の試作前強度確認として、線形及び非線形構造解析の受託研究を5件行った。	

4.2 助成制度への取り組み

埼玉県産業技術総合センターでは、県内中小企業の技術的支援機関として、国の重要施策である新規産業創造の実現に向けた「研究・技術開発に対する助成制度」を積極的に活用するための取り組みを行っている。

4.2.1 研究開発型企業支援事業

県内中小企業に対し、国等が実施する助成制度への応募に向けて、大学、(独)産業技術総合研究所、(独)理化学研究所、(財)埼玉県産業振興公社等との連携の基に支援を行った。

結果、外部競争的資金では次の「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」を除くと、平成 25 年度は 20 件の応募で 6 件の採択を得ることができた。下の表にその概要を示す。

外部競争的資金による他に県の補助金についても 8 件の採択があった。

なお平成 24 年度補正予算「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」については、平成 24 年度から平成 25 年度にかけて公募が 2 回に分けて行われ、SAITEC の支援については合計 109 件の応募で、69 件の採択を得た。

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
平成 25 年度 戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	硬質六価クロムめっきに代わる微粒子分散複合めっき技術の開発	吉野電化工業(株) (株)吉野ハード (株)金子製作所 関東学院大学
	金属粉末成形用の金型潤滑油と塗布システムの開発	(株)青木科学研究所 ポーライト(株) R-GOT(株) 静岡大学 群馬県立産業技術センター
研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ((独)科学技術振興機構)	1時間以内で個別最適化した手術を完了できる人工関節手術ナビゲーションによる3D手術支援サービスの実用化	(株)レキシー アルスロデザイン(株) NPO 三次元工学会 埼玉医科大学
	1時間以内で個別最適化した手術を完了できる人工関節手術ナビゲーションシステムの臨床用試作の開発	(株)レキシー アルスロデザイン(株) 埼玉医科大学 東京大学附属病院 NPO三次元工学会 日産玉川病院
	バイオハザード迅速検出システム	フルイドウェアテクノロジーズ(株) (独)産業技術総合研究所 警察庁科学警察研究所 静岡県立大学(薬学部) 岐阜大学(医学部) 名古屋大学(医学部)
平成 25 年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業	高アミロース米のダイレクト糊化による低コスト高付加価値食品の開発	(株)新井機械製作所 (株)ブルミッシュ (独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 愛知県農業総合試験場 東京大学大学院

4.3 特許の取得推進とその活用

4.3.1 産業財産権の一覧

(1) 特許権

平成 25 年度は新たに 1 件の特許出願をした。

下表はセンターが所有する特許全 48 件(未公開 7 件含む)のうち、登録又は出願公開されたものである。なお、センターでは産業財産権のうち特許以外の出願及び権利の所有はない。

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
1	成形鏡面研削装置	H10.2.26 特願平 10-045434	H11.9.7 特開平 11-239969	H20.4.4 4104199	永井 寛 野口 清隆 新井 尚機 戸枝 保 出口 貴久 進藤 久宜 小熊 広之	(独)理化学研究所 共同
2	チタン系金属製品の製造方法及びチタン系金属製品	H14.6.17 特願 2002-176243	H16.1.22 特開 2004-18954	H22.8.20 4570315	出口 貴久	(株)アクトメント 共同
3	超磁歪素子の伸縮制御装置	H14.12.4 特願 2002-352179	H16.7.2 特開 2004-187419	H20.3.28 4102655	荻野 重人 宇野 彰一	
4	発酵風味菓子の製造方法	H15.6.6 特願 2003-162045	H16.12.24 特開 2004-357631	H20.9.19 4188146	井上 和春	みたけ食品工業(株)、(株) 愛工舎製作所 共同
5	粘弾性測定装置及び粘弾性測定方法	H15.10.31 特願 2003-372299	H17.5.26 特開 2005-134295	H21.4.21 4299100	関根 正裕 荻野 重人	(有)サンズコーポレ ーション 共同
6	成型物の製造方法	H15.12.1 特願 2003-401363	H17.6.23 特開 2005-161605	H20.8.22 4171788	山本 誠	(株)クラレ、(協)フォ レスト西川 共同
7	チタン系金属製品の製造方法	H16.2.27 特願 2004-53845	H17.9.8 特開 2005-240144	H22.2.5 4452524	出口 貴久	(株)アクトメント 共 同
8	漬床及びこれを用いた漬物の製造方法	H16.3.30 特願 2004-098398	H17.10.13 特開 2005-278531	H20.10.24 4205006	井上 和春 大澤 千恵子	みたけ食品工業(株)、 (株)愛工舎製作所、東洋 大学 共同
9	大腸菌群の汚染源特定方法及びその検出に使用する大腸菌群検出用培地セット	H17.8.8 特願 2005-229680	H19.2.22 特開 2007-43921	H23.7.29 4789540	富永 達矢 関根 正裕	
10	超微小硬さ等測定装置及び測定方法	H17.11.18 特願 2005-334061	H19.6.7 特開 2007-139592	H21.9.18 4376858	荻野 重人	
11	チタン系金属材料用電解エッチング液及びチタン系金属製品の製造方法	H18.1.16 特願 2006-7700	H19.7.26 特開 2007-186776	H24.2.17 4925670	出口 貴久	
12	ドリルのシンニング装置及びシンニング形成方法	H18.2.3 特願 2006-27551	H19.8.16 特開 2007-203427	H23.12.16 4882103	南部 洋平 落合 一裕	日本ノズル精機 (株) 共同
13	センサー機能付アクチュエータ装置および粘弾性測定装置	H18.7.20 特願 2006-198697	H20.2.7 特開 2008-29111	H25.2.8 5190606	関根 正裕	(有)サンズコーポレ ーション、(有)カトランスフ ォーム、共同
14	変形測定装置、変形測定方法及び変形測定プログラム	H19.3.19 特願 2007-69810	H20.10.2 特開 2008-232686	H24.6.22 5017556	白石 知久 栗原 英紀	
15	身体傾斜角計測器および身体ねじれ角計測器	H19.5.29 特願 2007-141889	H20.12.11 特開 2008-295527	H23.12.16 4885795	半田 隆志	他 2 名共同
16	溶接装置および溶接方法	H19.6.1 特願 2007-146598	H20.12.11 特開 2008-296260	H24.12.14 5156266	白石 知久 栗原 英紀	他 1 名 共同
17	耐アルミニウム溶湯溶損性鋳鉄の製造方法及び耐アルミニウム溶湯溶損性鋳鉄	H19.6.7 特願 2007-151716	H20.12.18 特開 2008-303425	H23.8.5 4796994	永野 正明 森田 憲輔	児玉鋳物(株) 共同
18	汚染粒子処理装置	H19.6.12 特願 2007-155197	H20.12.25 特開 2008-307436	H22.10.1 4596433	栗原 英紀 井村 俊彦	埼玉大学 共同
19	研削加工用砥石の製造装置及び製造方法	H19.6.15 特願 2007-158686	H20.12.25 特開 2008-307647	H25.1.18 5178060	落合 一裕 南部 洋平	(株)タナカ技研、 埼玉大学 共同

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
20	樹脂構造物の製造方法	H19.3.23 特願 2007-76552	H20.10.2 特開 2008-231355	H25.3.1 5205636	山田 岳大	
21	細菌による汚染の汚染源特定方法	H20.4.28 特願 2007-117212	H21.11.12 特開 2009-261363	H25.7.12 5310997	富永 達矢 関根 正裕	
22	動的粘弾性測定装置	H21.6.1 特願 2009-131935	H22.2.4 特開 2010-25923	H25.8.2 5327532	山田 岳大 関根 正裕	
23	加熱調理装置	H22.3.12 特願 2010-516841	H21.12.7 PCT/JP2009/60429	H24.11.9 5130363	関根 正裕 樋口 誠一 高橋 学 常見 崇史	(株)T.M.L、学校法人早稲田大学 共同
24	振動生成装置、動的粘弾性測定装置、および、動的粘弾性測定装置	H20.8.22 特願 2008-214580	H22.3.4 特開 2010-48722	H25.4.5 5233044	関根 正裕	(株)GMタイセー 共同
25	変位拡大装置	H20.9.8 特願 2008-229737	H22.3.25 特開 2010-68549	H25.5.2 5256414	荻野 重人	
26	品質評価装置	H20.10.27 特願 2008-275700	H22.5.6 特開 2010-101839	H25.6.7 5282231	関根 正裕 栗原 英紀 富永 達矢	(株)真韻 共同
27	ドレッシング及びその製造方法	H20.12.26 特願 2008-331697	H22.7.8 特開 2010-148468	H25.11.15 5407035	井上 和春	みたけ食品工業(株)、東洋大学、(株)愛工舎製作所 共同
28	射出成型装置	H21.4.28 特願 2009-110173	H22.11.18 特開 2010-260175	H22.11.19 4628476	山田 岳大	PLAMO(株) 共同
29	正極活物質、マグネシウム二次電池および正極活物質の製造方法	H21.11.17 特願 2009-261903	H23.6.2 特開 2011-108478	H26.3.20 5499281	栗原 英紀 斉田 吉裕 稲本 将史	
30	加熱調理装置、および、加熱調理方法	H22.3.12 特願 2012-504256	H23.9.15 WO/2011/111231	H25.10.18 5386701	関根 正裕	(株)T.M.L、(株)新井機械製作所 共同
31	バーチャルウエスタンプロッキングシステム	H22.4.28 特願 2012-512589	H23.11.3 WO/2011/135701		関根 正裕	(株)エスビー健康研究所 共同
32	品質保持剤およびその用途	H22.7.2 特願 2010-151674	H24.1.19 特開 2010-10658		小島 登貴子 樋口 誠一 仲島 日出男	
33	正極活物質、マグネシウム二次電池および正極活物質の製造方法	H22.11.8 特願 2010-249765	H24.5.31 特開 2012-104289		栗原 英紀 稲本 将史	
34	マグネシウム二次電池用の電解液、マグネシウム二次電池および電解液の製造方法	H23.1.17 特願 2011-7251	H24.8.9 特開 2012-150924		栗原 英紀 稲本 将史	
35	切削加工装置、振動条件提示装置及びその方法	H23.3.9 特願 2011-52238	H24.10.4 特開 2012-187656		南部 洋平 落合 一裕	
36	変位拡大装置	H23.7.22 特願 2011-160673	H25.2.4 特開 2013-27191		荻野 重人	
37	米飯製造方法及び米飯製造装置	H24.1.29 特願 2012-009321	H25.8.1 特開 2013-146224		関根 正裕	(株)T.M.L、早稲田大学 共同
38	接着剤及びその接着剤を使用した樹脂接合方法	H24.2.17 特願 2012-032540	H25.8.29 特開 2013-166904		関根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
39	関節置換術用ナビゲーション装置、そのプログラム、手術支援装置	H24.8.10 特願 2012-178914	H26.2.27 特開 2014-36700		半田 隆志	アルスロデザイン(株)、(株)レキシー、埼玉医科大学 共同

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
40	接着剤及び樹脂接合方法	H24.8.17 特願 2012-180727	H26.2.27 特開 2014-37489		関根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
41	振動波形発生装置、振動付加装置、振動加工装置	H24.9.5 特願 2012-195109	H26.3.20 特開 2014-50897		南部 洋平 落合 一裕	

4.3.2 実施許諾

平成 25 年度は「超微小硬さ等測定装置および測定方法」、「超磁歪素子の伸縮制御装置」他 1 件の計 3 件の実施許諾契約を締結し、実施許諾先企業数は合計 15 社(使用特許数は 17 件)となった。

5 交流

県内中小企業の技術交流を支援するとともに、他の鉱工業公設試験研究機関との交流に努めた。また、講演会、各種会議等に職員を派遣した。

5.1 異業種交流支援事業

5.1.1 産学官交流プラザ

地場企業の育成を目指して1983年に発足した埼玉県技術交流プラザの活動をさらに推進させるために、1988年に設立された。技術及び経営等に関する情報交換、大学・企業等との交流、研修会及び講演会等の産学官交流を行っている。平成25年度は、総会・例会・研修会・役員会を10回開催し、参加者は延べ93名であった。主な活動実績は次のとおりである。

会 長：岩崎 一隆(株式会社 岩崎食品工業 代表取締役社長)
 会員数：31社

年月日	開催場所	内 容
H25.5.30	大宮ソニックシティ	◇平成25年度総会 ◇講演会「本当に大丈夫ですか・・・？ 企業防衛」 株式会社リベロ 團 弘志 氏
H25.7.16	WithYouさいたま	第1回例会 講演「衛星測位を利用した時空間情報の活用」 一般社団法人衛星測位利用推進センター 利用推進本部 副本部長 松岡 繁 氏
H25.9.28～ 9.29	石巻水産、白謙かまぼこ店	第2回例会 石巻水産、白謙かまぼこ店の企業視察
H25.12.6	WithYouさいたま	第3回例会 講演「ネット利用の問題点・過去・現在・未来」 山本 祥三 氏
H26.3.14	株式会社小山本家酒造	第4回例会 株式会社小山本家酒造の見学会

5.1.2 埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼北ネット)

北部研究所強化事業の一環として、県北地域の中小企業経営者を中心に平成20年度に発足した異業種グループで、活動実績は次のとおりである。

代表幹事： 田端 克雄 (㈲フィールド・サイド代表)
 会 員 数： 6名

年月日	開催場所	内 容
H25.4.11	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第1回例会 ・平成25年度の活動計画 ・情報交換 賛光精機㈱の本庄区域におけるメガソーラー計画について
H25.5.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第2回例会 ・講演「ベントナイト(水漏れ防止、鋳物砂)について」 ・情報交換 高校生レストラン「まごの店」について
H25.6.20	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第3回例会 ・情報提供
H25.7.18	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第4回例会 ・情報提供
H25.9.10	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第5回例会 ・講演「ソーシャルメディアネットワーク」
H25.10.3	東京国際フォーラム	◇第6回例会 ・東京国際フォーラム視察
H25.10.11	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第7回例会 ・北部研究所研究発表会参加

年月日	開催場所	内 容
H25.10.29	埼玉工業大学	◇第8回例会 ・第10回埼玉北部地域技術交流会参加
H25.12.9	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第9回例会 ・講演「紙のはなし」
H26.1.30	さいたまスーパーアリーナ	◇第10回例会 ・彩の国ビジネスアリーナ 2014 視察
H26.3.5	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第11回例会 ・食品セミナー参加

5.1.3 埼玉食品テクノプラザ

平成9年度、食品関係の技術開発や経営等に関する経験・意見を交換し、技術移転・技術交流を促進することを目的に発足した。平成25年度の活動実績は下表のとおりである。

代表幹事： 笛木 弘治（笛木醤油㈱代表取締役社長）

会員数： 15名

年月日	開催場所	内 容
H25.5.13	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇役員会
H25.6.24	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇役員会 ◇総会 ・平成24年度事業報告 平成24年度決算報告 ・平成25年度事業計画 平成25年度予算 ・役員改選
H25.10.11	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇北部研究所研究発表会 ・研究成果発表 ・フォーラム 「食品加工の今後の展望～埼玉発の製販一体となった 取り組み～」 講師：早稲田大学先端生産システム研究所顧問 河合 素直 氏 他
H25.10.29	埼玉工業大学	◇第10回埼玉北部地域技術交流会 ・講演会 「安全と環境」そして新技術の創出～アイサイト～ 講師：富士重工業㈱スバル技術研究所・スバル技術本部 担当部長 樋渡 穰 氏 ・食テク紹介及びメンバー企業製品の展示
H25.11.15	川口市内	◇県内視察 ・ドリマックス㈱(川口市) ・埼玉県産業技術総合センター本所
H26.3.5	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇食品セミナー 「小麦粉の性質に基づいた麺の科学」 講師：工学院大学教授 山田 昌治 氏

5.1.4 さきたま利根テクノプラザ(STTEP)

旧繊維工業試験場(行田市)が行った異業種交流事業として、平成6年に発足した異業種交流グループで、会員が抱える技術開発及び経営等の課題について、情報や意見の交換等を行い、企業の発展及び技術の向上を目的として活動している。

代 表： 小菅 一憲 (東洋パーツ株式会社 会長)

参加企業： 13 企業

年月日	開催場所	内 容
H25.4.15	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H25.5.24～ 5.26	新潟県佐渡市	研修会
H25.6.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H25.7.26	熊谷市農業活性化センター	情報交換
H25.9.20	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H25.10.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H25.11.8	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H25.12.19	熊谷市	情報交換
H26.2.13	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H26.3.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換

5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)

各種研究会、交流会を支援するため、各会事務局を担当した。

5.2.1 鋳物技術委員会

本県鋳物工業の生産技術の向上を目的として当センターの業務に有効・適切な助言と指導を受けるため発足した。平成25年度は4回の委員会を開催した。主な事業は鋳造技術コンクールに関する助言、鋳造技術に関する講演会・講習会の内容の検討等である。なお、委員会は、県依頼の委員3名、業界依頼の委員4名及び川口市職員1名、県職員2名の10名の委員にオブザーバー2名の合計12名で構成する。

平成25年度は委員会を4回開催した。参加者は延べ57名であった。

(役員)	委員長	川口鋳物工業協同組合	技術顧問	山中 昇 氏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	材料技術担当	
		川口鋳物工業協同組合	総務課	

5.2.2 埼玉県ものづくり研究会

本研究会は、ものづくりのコア技術ならび関連技術の普及、向上に寄与することを目的に、平成19年7月に埼玉県NC工作機械研究会と埼玉県金型研究会を発展的に統合し設立され、講演会、講習会の開催、加工・組み立て技術に関する研究開発、技術者の養成等を主な事業としている。平成25年度は、講演会2回、見学会1回を開催し、参加者は、延べ61名であった。

(会員数) 正会員42社、賛助会員4社

(役員)	会長	(株)田口型範	田口 順 氏
	副会長	(株)ユニテック	斉藤 正洋 氏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	機械技術担当

5.2.3 埼玉県熱処理技術研究会

本会は、熱処理関連企業の熱処理技術を向上するため、昭和44年6月に設立され、講演会の開催、工場見学、会報の発行を主な事業としている。

平成25年度は講演会を2回、講習会を2回開催し、参加者は延べ141名であった。

(会員数) 62社

(役員)	会長	山方技術士事務所	山方 三郎 氏
	副会長	東武冶金(株)	細田 治 氏
		〃 オリエンタルエンジニアリング(株)	宗村 進之介 氏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	材料技術担当

5.2.4 品質工学フォーラム埼玉(QEF 埼玉)

品質工学は、量産現場における工程管理だけでなく、製品開発や技術開発を効率よく行う工学的手段である。本研究会は、全国組織である品質工学会の埼玉県内在勤・在住の会員を中心に品質工学の普及・発展を図るために設立し、会場の提供や研究会の運営について当センターが支援している。月に一度の定例会と年に数回講演会を行っている。

平成25年度は定例会を11回開催し、参加者は延べ116名であった。

(会員数) 34名

(役員)	代表	(株)アルビオン	深澤 宏 氏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	材料技術担当

5.2.5 埼玉県米菓研究会

会員の技術の向上並びに会員相互の親睦を図るため発足した。平成25年度は定例会を3回開催し、参加者は延べ61名であった。

(会員数) 39社(正会員33、賛助会員6)

(役員)	会長	(株)折原米菓工場	折原 一嘉 氏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター北部研究所	食品・バイオ技術担当

5.2.6 清酒製造技術研究会

県産清酒の品質向上、清酒の多様化に対応する品質設計、清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために発足した。

(会員数) 35社

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 食品・バイオ技術担当

(1)市販清酒研究会

流通過程における品質について外装審査、官能評価及び成分分析の試験調査を行って把握し、新製品開

発の一助にする。併せて、きき酒能力の向上を図る。

実施日：平成25年6月18日

調査試料：日本酒初心者女性向け清酒

出品点数：23点

参加者：57名(埼玉県吟友会会員、製造担当者、彩の国酒造り学校生徒、他)

(2)清酒研究会

清酒の多様化に対応する品質並びに清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために、出品酒の官能評価を行い、製造管理及び貯蔵・出荷管理について検討する。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日：平成25年9月10日

出品点数：吟醸酒の部 53点(15場)

純米の部 28点(16場)

参加者：24名(杜氏、酒造担当者)

(3)吟醸酒研究会

平成24酒造年度全国新酒鑑評会金賞受賞杜氏をパネラーとし、パネルディスカッション等を通じて吟醸酒造りの技術水準向上を図る。

実施日：平成25年12月17日

参加者：15名(杜氏、酒造担当者)

パネルディスカッション：「吟醸酒づくりの要点」

パネリスト	大瀧酒造(株)	菅原 杜氏
	(株)小山本家酒造	杉本 杜氏
	(株)文楽	村上 杜氏
	滝澤酒造(株)	滝澤 杜氏
	横田酒造(株)	高橋 杜氏

講演：「埼玉県内各社の平成24酒造年度全国新酒鑑評会審査結果平均値より」

講師：埼玉県産業技術総合センター北部研究所 主任研究員 横堀 正敏

(4)杜氏酒造研究会

清酒製造について本酒造年度における問題点を提起し、今後の酒造管理に反映させる。また、吟醸酒のきき種を行い、酒質の判定能力の向上を図る

実施日：平成26年3月14日

参加者：24名(杜氏、酒造担当者)

講演：「吟醸酒の管理と出品について」

講師：埼玉県産業技術総合センター北部研究所 主任研究員 横堀 正敏

(5)新酒研究会

全国新酒鑑評会への出品に向け、その候補たる火入れ酒の官能評価を行い、成分分析値と共に検討することによって、入賞および金賞受賞点数の増加を図る。

実施日：平成26年3月25日

出品点数：41点

参加者：15名(杜氏、酒造担当者)

5.3 首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】

首都圏の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することにより首都圏産業の活性化を図った。

5.3.1 首都圏公設試連携推進会議の開催 3回(第43回～第45回)

- | | |
|-------------------|---------------|
| (1)平成25年6月14日(月) | 長野県工業技術総合センター |
| (2)平成25年9月6日(金) | ちば仕事プラザ |
| (3)平成25年11月29日(金) | 日本大通り7ビル |

5.3.2 首都圏公設試連携推進会議(TKFフォーラム)の開催 1回(第46回)

平成26年2月14日(金) 埼玉県産業技術総合センター

5.3.3 (地独)東京都立産業技術研究センター墨田支所 生活技術開発セクター開所式
平成 25 年 10 月 16 日(水) (地独)東京都立産業技術研究センター墨田支所

5.3.4 研究発表者相互派遣事業

(1)発表者派遣

①(地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会への参加

平成 25 年 6 月 20 日(木)

技術支援室 電気・電子技術担当 専門研究員 佐野 勝

平成 25 年 6 月 21 日(金)

技術支援室 機械技術担当 専門研究員 小熊 広之

②千葉県産業支援技術研究所研究発表会への参加

平成 25 年 7 月 31 日(水)

北部研究所 食品・バイオ技術担当 主任 常見 崇史

③神奈川県産業技術センター研究発表会への参加

平成 25 年 10 月 25 日(金)

技術支援室 電気・電子技術担当 専門研究員 荻野 重人

(2)評価委員派遣

(地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会への派遣

平成 25 年 6 月 20 日(木)

技術支援室 機械技術担当 専門研究員 南部 洋平

平成 25 年 6 月 21 日(金)

技術支援室 戦略プロジェクト推進担当 担当部長 関根 正裕

(3)発表者受け入れ(埼玉県産業技術総合センター研究発表会)

川口会場(本所):平成 25 年 10 月 2, 3 日(水, 木)

東京都 1 名

神奈川県 1 名

千葉県 1 名

5.3.5 産業交流展 2013 への参加

(1)期日:平成 25 年 10 月 30 日(水)~11 月 1 日(金)

(2)場所:東京国際展示場

5.3.6 パートナー・グループ事業

(1)微細加工分科会の実施

年 月 日	場 所	参 加 者
H26.1.30	神奈川県産業技術センター	機械技術担当 出口 貴久 南部 洋平

(2)バイオ技術パートナーグループの実施

年 月 日	場 所	参 加 者
H25.9.18	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	所長 中島 規之 食品・バイオ技術担当 増田 こずえ 小島 登貴子 細井 永次 常見 崇史 樋口 誠一 富永 達矢 鶴菌 大 鈴木 康修

5.3.7 その他への発表(他県での研究発表会等)

本所

年月日	研究題目	発表者名	発表会名	論文
				掲載雑誌名
H25.6.20	誘電セラミックス複合材を接着層とするポリプロピレンの高周波溶融接合	化学技術担当 佐野 勝	平成25年度 (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会	平成25年度 (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会要旨集
H25.6.21	熱可塑性炭素繊維複合材料の力学特性向上	機械技術担当 小熊 広之	平成25年度 (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会	平成25年度 (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会要旨集
H25.11.15	高アスペクト比微細深穴加工に関する研究	機械技術担当 南部 洋平	平成25年度 長野県工業技術総合センター材料技術部門研究・成果発表会	平成25年度 長野県工業技術総合センター材料技術部門研究・成果発表会要旨集

北部研究所

年月日	研究題目	発表者名	発表会名	論文
				掲載雑誌名
H25.7.31	ソフトスチーム加工技術による製品化	食品・バイオ技術担当 常見 崇史	平成25年度 千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会	平成25年度 千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会要旨集

5.3.8 広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP)

首都圏の公設試が連携して実施する中小企業の海外展開支援サービスで、国際規格や海外の製品規格についての相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験について技術的な支援を実施するもので、平成24年10月24日(地独)東京都立産業技術研究センター内に開所し、以下の事業を行った。

(1) 県内企業の利用実績 80件

(2) 運営会議

- ・平成25年6月14日(金) 長野県工業技術総合センター
- ・平成25年9月6日(金) ちば仕事プラザ
- ・平成25年12月10日(火) ラフレさいたま
- ・平成26年2月14日(火) 埼玉県産業技術総合センター

5.3.9 平成24年度経済産業省補正予算事業「地域新産業創出基盤強化事業」

関東経済産業局管轄区域(1都10県)に運営協議会を設置し、広域的に連携する公設試験研究機関に地域が技術的な強みを有する分野を中心とした試験研究設備を整備することによって、地域企業の研究利用、国際規格への対応、安全性の確認等のための評価試験を行うために必要な基盤を強化した。

(1) 運営協議会等の開催

- | | | |
|-----------------|---------------------|--------------------|
| ・平成25年4月5日(金) | 第1回総会 | (地独)東京都立産業技術研究センター |
| ・平成25年4月5日(金) | 機器選定委員会 | (地独)東京都立産業技術研究センター |
| ・平成25年4月5日(金) | 第2回総会 | (地独)東京都立産業技術研究センター |
| ・平成25年9月6日(金) | 第3回総会 | 長野県工業技術総合センター |
| ・平成25年9月6日(金) | 第4回総会 | ちば仕事プラザ |
| ・平成25年10月30日(水) | 臨時総会 | (地独)東京都立産業技術研究センター |
| ・平成25年12月10日(火) | 第5回総会
(及びPRイベント) | ホテルラフレさいたま |
| ・平成25年12月18日(水) | 普及セミナー | 秋葉原コンベンションホール |

(2) 導入機器

- ・高精度 X 線 CT 三次元測定機(カールツァイス(株)/METROTOM800)
- ・3D デジタイザ(スタインベクラー/COMET5-11M)

5.4 RINGS NET（新潟、群馬、埼玉 3県公設試連携）

新潟、群馬、埼玉他の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することを目的に設立し、下記の事業を行った。

5.4.1 3県公設試連携推進会議の開催 2回

- (1)平成 25 年 5 月 13 日(月) 群馬県立群馬産業技術センター
 (2)平成 25 年 8 月 29 日(木) 埼玉県産業技術総合センター

5.4.2 研究発表者相互派遣事業

- (1)講師派遣
 平成 25 年 11 月 15 日(金) 長野県工業技術総合センター
 技術支援室 専門研究員 南部 洋平
 「高アスペクト比微細深穴加工に関する研究」
- (2)発表者受け入れ
 川口会場(本所):平成 25 年 10 月 2, 3 日(水, 木)
 群馬県 1 名
 新潟県 1 名

5.4.3 担当分野別交流会等の開催

(1)上信越公設研ネット機関長・企画担当者会議

年月日	場 所	参 加 者
H26.1.17	新潟県工業技術総合研究所	センター長 牟田口 照恭 企画・総務室 副室長 高橋 利男

(2)技術部長交流会

年月日	場 所	参 加 者
H25.11.28	群馬県立群馬産業技術センター	技術支援室 副室長 戸枝 保

(3)エネルギーハーベスティング技術交流会

年月日	場 所	参 加 者
H25.10.1	(独)産業技術総合研究所	技術支援室 主任 栗原 英紀 主任 森田 寛之 技師 稲本 将史

5.5 講演会等講師派遣

本 所

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
H25.12.10	H24年度経済産業省補正予算事業「地域新産業創出基盤強化事業」シンポジウム	ラフレさいたま	主催者:関東経済産業局、地域新産業創出基盤強化事業運営協議会 内容:埼玉県産業技術総合センターにおける3Dデジタルものづくり支援	宇野 彰一
H25.12.18	H24年度経済産業省補正予算事業「地域新産業創出基盤強化事業(関東地域)」セミナー	秋葉原コンベンションホール	主催者:埼玉県産業技術総合センター、東京都立産業技術研究センター、静岡県工業技術研究所 内容:埼玉県産業技術総合センターにおける3Dデジタルものづくり支援	宇野 彰一 長野 隼人
H26.3.3	埼玉県産業技術総合センター研究開発フォーラム	大宮ソニックシティ	主催者:埼玉県経営者協会 内容:埼玉県産業技術総合センターにおける3Dデジタルものづくり支援	宇野 彰一

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
H26.3.7	NMIJ計測クラブCMMユーザーズクラブ講演会	東京大学本郷キャンパス	主催者:(独)産業技術総合研究所 内容:三次元座標測定ノウハウ	宇野 彰一

北部研究所

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
H25.4.1～ 4.26	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	酒造実習	増田 こずえ 横堀 正敏
H25.5.15, 5.22	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	微生物実習	増田 こずえ 横堀 正敏
H25.6.18	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	官能審査実習	増田 こずえ 横堀 正敏
H25.6.19～ 6.21	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	分析実習	増田 こずえ 横堀 正敏
H25.7.5	埼玉県工業教育研究会 教員研修 ものづくりコンテスト研修会	埼玉県立いずみ高等学校	「キレート滴定法による飲料水中のCa、Mgの定量について」	小島 登喜子 鶴菌 大
H25.7.10	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	官能評価・分析実習	増田 こずえ 横堀 正敏
H25.7.25	食品ニューテクノロジー研究会 2013年7月例会 「麺類の新展開」	アキバプラザ	「麺類の新品質評価技術 うどんのおいしさとは? 食感の見える化ー」	小島 登喜子
H25.8.28	日本食品科学工学会大会 シンポジウムB4「地域食品研究のエクセレンス」	実践女子大学	「遺伝子検出による迅速微生物解析技術の開発」	富永 達矢
H25.10.2	埼玉35歳大試飲会	大宮ソニックシティ	酒造技術ブース出展	増田 こずえ 横堀 正敏 鈴木 康修
H25.10.2～ 10.3	埼玉県立熊谷女子高等学校 スーパーサイエンスハイスクール実習	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	「天然水中のミネラル分の測定」 「混用率試験」 「色彩測定」 「紫外線遮断率&ホルムアルデヒド分析」 「お酒を造る酵母はアルコールに強いだろうか」 「小麦粉の性質を知る」	
H25.10.4	普及指導員研修 農業経営高度化研修(農産物活用)	埼玉県農林公園管理事務所	小麦新品種「さとのそら」の加工特性	小島 登貴子
H25.10.7	さいたま商工会議所 商業部会 さいたま地域ブランド育成研究会勉強会	藤宮製菓 本町店	埼玉の小麦と小麦をめぐる食文化	小島 登貴子
H25.10.20	ものづくりフェスタ	県民活動総合センター	北部研究所紹介	小島 登貴子
H25.10.21	仁科 普及ミーティング in武蔵野銀行和光支店	武蔵野銀行 和光支店	「清酒酵母の開発」	増田 こずえ 横堀 正敏

年月日	名称	会場	内容	講師
H25.11.18	小麦「さとのそら」研修会	マロウドイン熊谷	小麦「さとのそら」に関する情報提供	小島 登貴子
H25.11.25	平成25酒造年度酒造講話会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	話題提供	増田 こずえ 横堀 正敏
H26.2.6	スーパーサイエンスハイスクール特別講座	埼玉県立熊谷西高等学校	「発酵の世界」	増田 こずえ
H26.2.18	埼玉県吟友会県内視察	東亜酒造(株)、(株)釜屋	清酒製造技術	横堀 正敏

5.6 審査会等への派遣

本所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H25.5.23	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構福祉用具実用化補助金審査委員会	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	半田 隆志
H25.6.20	東京都立産業技術研究センター 研究発表会	東京都立産業技術研究センター	南部 洋平
H25.6.23	平成24年度技能検定(鉄鋳物製造作業)実技試験	永井機械鋳造(株)	菊池 和尚
H25.7.3	平成25年度技能検定(鉄鋳物製造作業)審査会	埼玉県産業技術総合センター	菊池 和尚
H25.7.5	草加市研究開発型企業育成部門補助金審査会	草加市役所	戸枝 保
H25.10.9	第49回埼玉県鋳造技術コンクール審査会	埼玉県産業技術総合センター	増田 伸二
H25.10.10	産業技術連携推進会議医療福祉技術分科会タスクフォース会議	(独)産業技術総合研究所	半田 隆志
H25.10.21	第2回鋳造技術コンクール(軽合金)審査会	川口鋳物工業協同組合	増田 伸二
H25.12.6	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構分野横断型公募事業に係る事前書面審査	埼玉県産業技術総合センター	半田 隆志
H25.12.12	電子情報通信学会福祉情報工学研究会専門委員	(独)産業技術総合研究所	半田 隆志
H26.2.2	技能検定実技試験(金属組織)	オリエンタルエンジニアリング(株)	篠崎 誠
H26.2.6	(独)新エネルギー。産業技術総合開発機構平成25年度福祉用具実用化開発推進事業に係る事後評価	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	半田 隆志

北部研究所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H25.4.9～ 4.10	平成 24 酒造年度越後流酒造技術選手権大会審査会	新潟県酒造会館	横堀 正敏
H25.5.24	第48回捺染作品競技会	熊谷市立商工会館	中島 規之 宮原 進 高橋 広子
H25.6.12	埼玉県酒造組合秩父支部初呑切会	秩父地域地場産業振興センター	増田 こずえ 横堀 正敏
H25.6.27	埼玉県酒造組合西部ブロック初呑切	小川町民会館	増田 こずえ 横堀 正敏
H25.7.25	藤崎摠兵衛商店初呑切	(株)藤崎摠兵衛商店	横堀 正敏
H25.7.25	埼玉県酒造組合行田・熊谷支部初呑切会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ
H25.8.3	高校生ものづくりコンテスト 化学分析部門 埼玉県大会	東洋大学理工学部 川越キャンパス	鶴藪 大
H25.9.18	茨城県清酒鑑評会2013	茨城県工業技術センター	横堀 正敏

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H25.10.2	全国きき酒選手権埼玉県大会	大宮ソニックシティ	増田 こずえ 横堀 正敏 鈴木 康修
H25.10.3～4	関東信越国税局酒類鑑評会 一審	関東信越国税局	横堀 正敏
H25.10.10	関東信越国税局酒類鑑評会 二審	関東信越国税局	増田 こずえ
H26.1.16	埼玉県ふるさと認証食品「みそ」官能審査会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ 横堀 正敏
H26.1.20～21	技能検定(パン製造)	ベーカリーシステム研究所	鶴菌 大
H26.2.5	技能検定実技試験(酒造)	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ 横堀 正敏 鈴木 康修
H26.2.9	技能検定実技試験(酒造)	滝澤酒造(株)	増田 こずえ 横堀 正敏 鈴木 康修
H26.2.27～28	全国市販酒類調査品質評価	関東信越国税局	増田 こずえ
H26.3.7	埼玉県酒造組合北部ブロック西部ブロック合同 持ち寄り研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ 横堀 正敏 鈴木 康修
H26.3.10	埼玉県酒造組合中部ブロック持ち寄り研究会	(株)文楽	増田 こずえ 横堀 正敏
H26.3.11	食品関係調査研究評価委員会	さいたま新都心合同庁舎検査棟	小島 登貴子

5.7 技術評価

新製品開発等の補助金、表彰等に応募した企業の提案課題について技術評価を実施した。

事業名	依頼元	内容	件数
草加市研究開発型企業育成部門補助金	草加市産業振興課	草加市研究開発型企業育成部門 補助金審査会	3
草加モノづくりブランド認定審査会	草加市産業振興課	審査会	3
八潮市優良技術者及び技能者の選定に 係る評価会	八潮市商工観光課	評価会	5

5.8 会議等への参加

本所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H25.4.12	鑄造品の評価技術研究部会	(公社)日本鑄造工学会	永井 寛
H25.4.12	医療検査機器開発プロジェクト ワーキンググループ会議	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	仲島 日出男
H25.4.22	平成25年度第1回鑄造工学会・人材育成委員会	川口鑄物工業協同組合	永井 寛
H25.4.24	MEDTEC JAPAN(医療機器展)	東京国際展示場	仲島 日出男
H25.4.26	プラスチック成形加工学会 第24回年次大会 実行委員会	五反田文化会館	山田 岳大
H25.5.9	平成25年度鑄造カレッジ企画運営委員会及び合同委員会	機械振興会館	永井 寛
H25.5.17	産学連携支援ネットワーク会議幹事会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利
H25.5.17	医療検査機器開発プロジェクト第1回研究会	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	仲島 日出男
H25.5.20~22	プラスチック成形加工学会 第24回年次大会	タワーホール船堀	山田 岳大
H25.6.4	プラスチック成形加工学会第119回企画委員会	(株)デンソー大安製作所	山田 岳大
H25.6.10	鑄造設備研究部会	愛知県産業労働センター	永井 寛
H25.6.12	産学連携支援ネットワーク会議総会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利
H25.6.13~ 6.14	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第20回表面技術分科会	北海道立道民活動センター	福島 泰年
H25.6.21	オゾン水研究会	星薬科大学	熊谷 知哉
H25.6.22	平成25年度鑄造カレッジ関東地区・開校式	川口鑄物工業協同組合	永井 寛
H25.6.27~ 6.28	第86回公立鉦工業試験研究機関長協議会 総会	ホテルメトロポリタン山形	牟田口 照恭 小口 正浩
H25.7.10	医療検査機器開発プロジェクト第2回研究会	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	仲島 日出男
H25.7.11	鑄造品の評価技術研究部会	(公社)日本鑄造工学会	永井 寛
H25.7.26	第1回現場力強化研究会	新都心ビジネス交流プラザ	巻島 秀男 唐牛 聖文
H25.8.2	プラスチック成形加工学会 第120回企画委員会	東京工業大学	山田 岳大
H25.8.20	医療検査機器開発プロジェクト ワーキンググループ会議	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	仲島 日出男
H25.8.23	オゾン水研究会	星薬科大学	熊谷 知哉
H25.9.3~9.4	第104回全国公設試鉦工業試験研究機関事務連絡会議	香川県県民ホール	高橋 利男
H25.9.12~ 9.13	2013年度精密工学会秋季大会	関西大学	荻野 重人 南部 洋平
H25.9.19	鑄造設備研究部会	東京工業大学 キャンパス・イノベーションセンター	永井 寛
H25.9.20	プラスチック成形加工学会 第43回 新加工専門委員会	東京大学 生産技術研究所	山田 岳大
H25.9.25	医療検査機器開発プロジェクト第3回研究会	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	仲島 日出男
H25.9.27	第2回現場力強化研究会	新都心ビジネス交流プラザ	巻島 秀男
H25.10.24~ 10.25	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 第18回電磁環境分科会及び第23回EMC研究会	富山県工業技術センター 高岡商工会議所商工ビル(1日目) 中央研究所(2日目)	田中 智大 宗形 隆史
H25.10.24	プラスチック成形加工学会 第9回 発泡・超臨界流体利用成形加工専門委員会	昭和電工(株)	山田 岳大

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H25.10.25	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 素形材分科会 第9回鑄造技術研究会	高岡商工ビル(高岡市)	永井 寛
H25.11.8	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部 会総会・産業技術分科会 関東甲信越静地域産業技術連携推進会議	埼玉県産業技術総合センター	牟田口 照恭 鈴木 康之 土井 智行 高橋 利男
H25.11.16	品質工学地方研究会・合同企業交流会	さいたまソニックシティ	井上 裕之
H25.11.19	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 第7回情報技術分科会及び第11回 組込み技術研究会	(地独)東京都立産業技術研究 センター 本部	鈴木 浩之 本多 春樹
H25.11.21	医療検査機器開発プロジェクト ワーキンググ ループ会議	東洋大学 理工学部 川越 キャンパス	仲島 日出男
H25.11.21	全国公立鉦工業試験研究機関長協議会 第1回知的財産に係る分科会	地方独立行政法人大阪市立 工業研究所	細野 光広
H25.11.21	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材 料部会 第51回高分子分科会	KKRホテル熊本	山田 岳大
H25.11.22	平成25年度全国公設鉦工業試験研究機関事 務連絡会議 関東甲信越静ブロック会議	長野県工業技術総合センタ ー	小口 正浩 蓮 俊介
H25.11.27～ 11.28	産業技術連携推進会議 ナノテク・材料部会 素形材分科会 全国公設試験研究機関素形材 技術担当者会議および総会	愛知県産業労働センター	永井 寛 井上 裕之
H25.11.28	鑄造品の評価技術研究部会	(公社)日本鑄造工学会	永井 寛
H25.12.5	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析 分科会	東京都立産業技術研究センター	菊池 和尚
H25.12.5～ 12.6	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析 分科会、総会、特別意見交換会	地方独立行政法人 東京都立産業技術研究セン ター	佐野 勝 大西 健太
H25.12.11～ 12.13	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 計測 分科会、形状計測研究会、総会	マロウドイン熊谷	牟田口 照恭 戸枝 保 永井 寛 萩野 重人 宇野 彰一 島崎 景正 山田 岳大 蓮 俊介 長野 隼人 内藤 理恵 宮崎 智詞
H25.12.13	第3回現場力強化研究会	新都心ビジネス交流プラザ	巻島 秀男 唐牛 聖文
H25.12.20	オゾン水研究会	星薬科大学	熊谷 知哉
H25.12.26	医療検査機器開発プロジェクト ワーキンググ ループ会議	東洋大学 理工学部 川越 キャンパス	仲島 日出男
H26.1.14	医療検査機器開発プロジェクト第5回研究会	東洋大学 理工学部 川越 キャンパス	仲島 日出男
H26.1.17	VCAD システム研究会ポリゴンエンジニアリング 研究会	理化学研究所	永井 寛 宇野 彰一
H26.2.6	医療検査機器開発プロジェクト ワーキンググ ループ会議	東洋大学 理工学部 川越 キャンパス	仲島 日出男
H26.2.14	第4回現場力強化研究会	新都心ビジネス交流プラザ	巻島 秀男
H26.2.15	平成25年度鑄造カレッジ関東地区 発表会及 び修了式	ホテルふせじま	永井 寛
H26.2.21	(公社)日本分析化学会分析士会総会	五反田文化会館	熊谷 知哉

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H26.2.26	第 54 回産業技術連携推進会議 総会	砂防会館	牟田口 照恭 小口 正浩
H26.2.27	医療検査機器開発プロジェクト ワーキンググループ会議	東洋大学 理工学部 川越 キャンパス	仲島 日出男
H26.2.28	VCAD システム研究会定例会	大日本印刷五反田ビル	永井 寛
H26.3.5	医療検査機器開発プロジェクト第 6 回研究会	東洋大学 理工学部 川越 キャンパス	仲島 日出男
H26.3.7	オゾン水研究会	星薬科大学	熊谷 知哉
H26.3.8	ISO/TC173/SC1/WG11	The Westin Bayshore (Vancouver, Canada)	Takashi Handa
H26.3.13	表面技術協会第129回講演大会	東京理科大学野田キャンパス	出口 貴久
H26.3.17	平成 25 年度第 3 回鑄造工学会・人材育成委員会	川口鑄物工業協同組合	永井 寛
H26.3.18	鑄造設備研究部会	愛知県産業労働センター	永井 寛
H26.3.18～ 3.20	2013年度精密工学会春季大会	東京大学本郷キャンパス	出口 貴久 南部 洋平 宮崎 智詞 長野 隼人

北部研究所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H25.4.12	医療機器プロジェクト ワーキンググループ会議	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H25.4.24	埼玉バイオ平成 25 年度第 1 回管理委員会	新都心ビジネス交流プラザ	小島 登貴子
H25.4.24	MEDTEC JAPAN(医療機器展)	東京国際展示場	樋口 誠一
H25.5.10	日本酒造組合中央会関東信越支部 通常総会	日本酒造会館	横堀 正敏
H25.5.15	埼玉県漬物協同組合 通常総会	埼玉グランドホテル深谷	中島 規之
H25.5.16	埼玉県酒造組合 通常総会	岸権旅館	中島 規之
H25.5.16～ 5.17	国際食品素材／添加物展	東京国際展示場	常見 崇史 樋口 誠一
H25.5.17	医療機器開発プロジェクト第1回研究会	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H25.5.20	埼玉県吟友会 通常総会	ホテルユニゾ新橋	横堀 正敏
H25.5.23	埼玉県生麺業協同組合 通常総会	大宮サンパレス	中島 規之
H25.5.24	埼玉醤油工業協同組合 通常総会	ホテルガーデンパレス	増田 こずえ
H25.5.30～ 5.31	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会総会及び繊維工業技術総会	京都市産業技術研究所	宮原 進
H25.6.5	埼玉県米菓研究会 総会	新都心ビジネス交流プラザ	中島 規之 常見 崇史 村田 一英
H25.6.14	平成24酒造年度全国新酒鑑評会公開さき酒会 全国日本酒フェア	池袋サンシャインシティ	増田 こずえ 横堀 正敏 鈴木 康修
H25.6.17	熊谷工場懇話会 通常総会	マロウドイン熊谷	中島 規之
H25.6.26	埼玉県食品工業協会 通常総会	マロウドイン熊谷	中島 規之
H25.7.2	埼玉県酒造業感謝状贈呈式	知事公館	中島 規之
H25.7.4	材料解析テクノフォーラム	品川グランドセントラルタワー	鶴菌 大
H25.7.10	医療機器開発プロジェクト第 2 回研究会	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H25.7.11	埼玉アジアフォーラム	さいたま商工会議所会館	小島 登貴子
H25.7.16～ 7.17	関東甲信越地区食品醸造研究会	長野県工業技術総合センター 食品技術部門	横堀 正敏
H25.7.23	高校生ものづくりコンテスト化学分析部門 第 2 回運営委員会	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	鶴菌 大
H25.8.20	医療機器プロジェクト ワーキンググループ会議	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H25.8.21	埼玉県酒造協同組合通常総会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	中島 規之
H25.8.23	「食のモデル」プロジェクト推進会議	埼玉大学	小島 登貴子
H25.8.23	大麦プロジェクト	埼玉大学	小島 登貴子
H25.8.29～ 8.31	日本食品科学工学会大会	実践女子大学	小島 登貴子 富永 達矢
H25.9.13	彩の国酒造り学校 卒業式	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	中島 規之 増田 こずえ 横堀 正敏
H25.9.19	AACC日本支部講演会	製粉会館	小島 登貴子
H25.9.25	医療機器開発プロジェクト第3回研究会	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H25.10.1	大麦食品・食のモデル事業 人材育成研修会	新都心ビジネス交流プラザ	小島 登貴子
H25.10.2	全国さき酒選手権埼玉県大会	大宮ソニックシティ	中島 規之 増田 こずえ 横堀 正敏 鈴木 康修

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H25.10.15～ 10.16	実用技術開発事業(24008)中間検討会議	愛知県農業総合試験場	常見 崇史 樋口 誠一
H25.10.16～ 10.17	日本醸造学会大会	北とびあ つつじホール	横堀 正敏 鈴木 康修
H25.10.21	「仁科誉」普及ミーティングin武蔵野銀行和光支店	武蔵野銀行 和光支店	増田 こずえ 横堀 正敏
H25.10.24	全国酒造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎第4号館	横堀 正敏
H25.10.28	6次産業キックオフミーティング	埼玉教育会館	小島 登貴子
H25.10.29	関東信越国税局酒類鑑評会 表彰式	関東信越国税局	増田 こずえ
H25.10.29	関東信越国税局酒類鑑評会 技術研究会	関東信越国税局	増田 こずえ 横堀 正敏 鈴木 康修
H25.10.31	食品関係技術研究会	エポカルつくば	中島 規之 増田 こずえ 小島 登貴子
H25.11.1	東洋大学実務研修報告会	東洋大学 板倉キャンパス	小島 登貴子 樋口 誠一
H25.11.8	埼玉県米菓研究会秋の勉強会	新都心ビジネス交流プラザ	常見 崇史 村田 一英
H25.11.13	平成25年度公開調査研究発表会	さいたま新都心合同庁舎	小島 登貴子
H25.11.18	農山漁村6次産業人材育成研修会	マロウドイン熊谷	小島 登貴子
H25.11.21	医療機器プロジェクト ワーキンググループ会議	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H25.11.26	医療機器開発プロジェクト第4回研究会	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H25.11.27	技能検定実技試験実施打合せ会議	浦和合同庁舎	増田 こずえ
H25.11.29	日本食品化学工学会産学官交流シンポジウム	東京工業大学 キャンパス・イノベーションセンター	小島 登貴子
H25.12.5～ 12.6	産業技術連携推進会議知的基盤部会 平成25年度分析分科会年会	東京都立産業技術研究センター	鈴木 理博
H25.12.12	産業技術連携推進会議 平成25年度知的基盤部会計測分科会	マロウドイン熊谷	関根 俊彰 鳥羽 遼子
H25.12.27	医療機器プロジェクト ワーキンググループ会議	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.1.8	埼玉県酒造組合 全員協議会	キングアンバサダーホテル	中島 規之
H26.1.9	熊谷捺染組合新年総会	熊谷レストランアーク	中島 規之
H26.1.10	所沢織物商工協同組合 賀詞交換会	ヘリテイジ リゾーツ飯能	中島 規之
H26.1.14	医療機器開発プロジェクト第5回研究会	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.1.24	埼玉県醤油工業協同組合 新年会	ホテルガーデンパレス	増田 こずえ
H26.1.28	埼玉県生麺業協同組合 新年会	大宮サンパレス	小島 登貴子
H26.1.29	彩の国ビジネスアリーナ	さいたまスーパーアリーナ	樋口 誠一
H26.1.30	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会幹事会	(地独)東京都立産業技術研究センター墨田支所	中島 規之
H26.2.6	埼玉県農商工連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	高木 利光 小島 登貴子 鶴菌 大
H26.2.6	医療機器プロジェクト ワーキンググループ会議	東洋大学 理工学部 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之

6 情報提供

当センターの利用を促進し、業務の成果・結果などを公表するため、各種印刷物の発行やウェブサイト上での情報発信を行った。また、記者発表等を行うことにより、各種メディアに取り上げられた。

6.1 研究報告

研究報告 第11巻(平成24年度) 平成25年10月発行

6.2 利用促進

6.2.1 業務報告

平成24年度 業務報告 平成25年8月発行

6.2.2 インターネットによる技術情報の提供

(1) ウェブページ

当センターのインターネットウェブページで主に以下の内容について情報提供した。

- ・ 平成15年度～平成24年度研究報告
- ・ 依頼試験案内、開放機器の案内、開放機器研修日程
- ・ 技術アドバイザー制度の案内、技術アドバイザーデータベース
- ・ 貸会議室、貸研究室
- ・ 研修会、講演会等の開催案内
- ・ 企業データベース
- ・ 他機関との連携による各種支援情報
- ・ セミナー、講習会情報
- ・ 新規導入機器の紹介

(2) メールマガジン等

県内中小企業の新技術・新製品の開発を支援するため、当センターに関連する産業情報をメールマガジンにより迅速に発信した。

発行件数 19件

また、電子メールによる「インターネット技術相談窓口」には1,060件の問い合わせがあった。

6.2.3 記者発表

年月日	タイトル
H25.9.2	平成25年度 SAITEC 研究発表会を開催します

6.2.4 マスメディア報道

(1) 新聞報道

年月日	新聞名	内容
H25.5.3	日本経済新聞	CAD など基礎セミナー
H25.5.8	日本経済新聞	低温蒸気で米甘く(ソフトスチーム米)
H25.5.31	日本経済新聞	埼玉県特集～センター長の今年のコメント
H25.6.14	埼玉新聞	公開特許を利用した商品開発
H25.7.24	埼玉新聞	中小企業と県の意見交換
H25.8.21	日刊工業新聞	千葉、川崎、さいたま市の産業支援財団
H25.8.23	日刊工業新聞	圧電素子変位量拡大機構
H25.8.29	日刊工業新聞	主な公設試の3D プリンター導入状況
H25.9.4	日刊工業新聞	環境負荷物質の規制に対応する六価クロムフリー処理製品・技術
H25.9.18	埼玉新聞	おいしい日本酒造る「彩の国酒造り学校」
H25.9.26	日本経済新聞	省エネ研究など2、3日に発表会
H25.10.3	日刊工業新聞	3D プリンター活用など講演～SAITEC研究発表会について
H25.10.11	日刊工業新聞	3D プリンター活用造形まで一貫支援
H25.10.11	日本経済新聞	大手の開放特許活用へ中小支援
H25.10.23	埼玉新聞	地元産清酒の普及を
H25.11.12	フジ産経ビジネス	開放特許活用へ中小と連携
H25.11.20	日刊工業新聞	3D プリンター活用促進
H25.11.30	埼玉新聞	秩父銘仙を指定へ

年月日	新聞名	内容
H26.1.20	日経グローバル 1/20 No.236	事例研究の紹介 理研と吟醸酒用酵母、重イオンビームを照射
H26.1.23	日刊工業新聞	水道水をオゾン水に 石川金属機工
H26.1.27	日刊工業新聞	3D プリンターを活用
H26.2.14	日本経済新聞	人工股関節手術速く
H26.3.4	日刊工業新聞	外部から専門家試作・製品化支援
H26.3.12	日刊工業新聞	試作から製品化まで
H26.3.28	埼玉新聞	本庄早稲田米を販売

(2) テレビ・ラジオ報道

年月日	テレビ・ラジオ名	番組名	内容
H25.5.22	テレビ東京	L4 YOU plus	ソフトスチームによる米の加工 (成分の測定の様子を放映)
H25.12.17	NHK 総合テレビ	首都圏ネットワーク	特許ライセンス活用事業～学生プレゼン

(3) その他雑誌報道

年月日	雑誌名	内容
H25.4.1	はあもにい 43号	埼玉県産業技術総合センターの紹介
H25.4.1	ふれあいケア4月号 (全国社会福祉協議会)	車いす上での座位姿勢計測手法
H25.5.24	川口産業振興公社 公社だより No.149	SAITEC 機器紹介 30 X 線回折装置
H25.6.1	アクセス埼玉 6月号 2013 JUN No.195	埼玉県産業技術総合センター 貸研究室の入居募集(広告欄)
H25.6.19	関東経済産業局 いっとじゅっけん(同局HP)	ソフトスチームを利用した高品位 食品加工SS玄米の製品化
H25.8.15	地域サポート部ニュース No.2(武銀)	SAITEC 機器紹介シリーズ 1 インクジェット式積層造形装置
H25.9.2	日本食糧新聞	麺類の新品質評価技術 (麺類の新展開をテーマに～食品ニューテクノロジー 研究会例会での講演)
H25.9.3	アクセス埼玉 9月号 2013 SEP No.198	埼玉県産業技術総合センター(SAITEC) 研究発表会のお知らせ
H25.9.4	川口産業振興公社 公社だより No.150	埼玉県産業技術総合センター 機器紹介 31 オゾンウェザーメータについて
H25.9.5	日本食糧新聞	「麺類の新展開」をテーマに
H25.9.13	地域サポート部 ニュース No.3(武銀)	SAITEC 機器紹介シリーズ 2 ガス腐食試験機
H25.9.14	NHK ためしてガッテン 2013 Vol.20	麺類の「超」極うま革命 (うどん断面の水分量写真)
H25.10.1	ぶぎんレポート 10月号	県内産業の振興そして地域経済の活性化のために (SAITEC の事業紹介)
H25.10.1	月刊 食品工場長 10月号	埼玉 G 酵母
H25.10.1	月刊 食品工場長 10月号	大腸菌群汚染源探索の開発
H25.10.7	アクセス埼玉 10月号 2013 OCT No.199	「第10回埼玉北部地域 技術交流会」開催のお知らせ
H25.10.25	地域サポート部ニュース No.4(武銀)	SAITEC 機器紹介シリーズ 3 顕微赤外分光分析装置
H25.11.12	MACHINE MATE NEWS No522	3D プリンターによる試作について
H25.12.2	アクセス埼玉 12月号	「3D プリンターなどによる製品開発支援」のご案内
H26.1.20	日経グローバル 236号	特集 地酒復権、競う自治体

7 起業化支援

起業家や新事業分野に進出する中小企業を技術・経営両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室22室を設置している。

7.1 入居企業

(1) 貸研究室

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	エスコウインズ(株)	川口市	産業機器	
2	(株)エプセム	川口市	産業機器	
3	(株)バーテックス	東京都港区	筆記具	H25.7.14 退去
4	(有)ジャパン・ラム	広島県福山市	バイオ産業	2室利用
5	ジェナシス(株)	川口市	バイオ産業	
6	(株)セネコム	川口市	産業機器	2室利用
7	(株)ジャパンビッグ商会	川口市	機能付き日用雑貨	H25.4.1 入居
8	アルスロデザイン(株)	川口市	医療機器	
9	石川金属機工(株)	川口市	理化学機器	H25.4.15 入居
10	エムテック化学(株)	川口市	工業製品	
11	ビタミン C60 バイオリサーチ(株)	東京都中央区	化粧品原料	
12	(株)ハーベス	さいたま市	化学工業製品	H25.9.30 退去
13	(株)ポリテック・デザイン	さいたま市	工業製品	H25.12.1 入居
14	(株)ニック	川口市	産業機器	H26.3.24 退去
15	(有)T4	東京都荒川区	工業製品	
16	Shimada Appli(同)	さいたま市	産業機器	
17	フルイドウェアテクノロジー(株)	川口市	流体チップ製品	2室利用

※ この他 1 室を(財)埼玉県産業振興公社が埼玉バイオプロジェクト・コア研究室として使用している。

7.2 支援実績

	支援内容	利用企業数	利用件数
1	センター研究員による技術相談	13 企業	92 件
2	インキュベーション・マネージャーによる経営相談	17 企業	158 件
3	依頼試験の利用を通じた技術支援	2 企業	10 件
4	開放機器の利用を通じた技術支援	5 企業	39 件
5	試作加工室の提供	6 企業	54 件
6	各種情報提供(セミナー、助成金、展示会など)	提供件数:60 件	

8 人材育成

県内中小企業等の人材を育成するため、研修生の受け入れ等を行った。また、技術競技会における表彰を行った。

8.1 研修生の受け入れ

8.1.1 中小企業等研究者養成研修事業

県内中小企業等の研究者及び技術者の資質の向上を図り、その技術力、研究開発力を強化することを目的として、研修生を受け入れた。

本 所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H25.5.20～H26.3.15	埼玉大学	1	17	材料技術進担当 清水 宏一
H25.5.21～H26.3.15	埼玉大学	1	9	材料技術進担当 清水 宏一
H25.6.1～H26.3.1	埼玉大学	1	2	材料技術進担当 清水 宏一
H25.8.26～H25.9.6	埼玉大学	1	10	機械技術進担当 出口 貴久
H25.11.14～H26.3.31	製造業	1	1	機械技術担当 山田 岳大
本 所 計		5	39	

北部研究所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H25.4.15～H25.9.30 H25.10.1～H26.3.31	個人	1	30 17	食品・バイオ技術担当 横堀 正敏
H25.6.5～H25.7.31	製造業	1	5	食品・バイオ技術担当 小島 登貴子
H25.8.19～H25.8.23	東京家政大学	4	5	生活関連技術担当 高橋 広子 他
H25.8.19～H25.8.23	大妻女子大学	2	5	生活関連技術担当 高橋 広子 他
H25.9.2～H25.9.20	東洋大学	1	14	食品・バイオ技術担当 常見 崇史
H25.9.2～H25.9.20	東洋大学	1	14	食品・バイオ技術担当 樋口 誠一
H25.9.20～H26.3.28	製造業	1	40	食品・バイオ技術担当 鶴藺 大
北部研究所 計		11	130	

	受け入れ実績	
	人数	日数
本 所	5 名	39 日
北部研究所	11 名	130 日
合 計	16 名	169 日

8.1.2 インターンシップ事業

埼玉県では、学生の職業意識の醸成と県政への理解を深めることを目的として、県庁・地域機関でのインターンシップを実施している。この制度で受け入れた研修生は以下のとおりである。

本 所

期 間	機 関 名	人 数	研 修 内 容	担 当 者
H25.8.26～H25.9.6	埼玉大学、東洋大学	2	金属材料・評価技術全般	材料技術担当 機械技術担当

8.1.3 平成 25 年度 鑄造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ

テーマ	技術と経営力を持つ次世代鑄造人材の育成を目的に実施された鑄造カレッジにおける関東地区のインターンシップ事業を企画し、下記概要のとおり実施した。
概 要	1 ねずみ鑄鉄の熱分析と接種及びその評価 2 球状黒鉛鑄鉄の球状化処理とフェーディング及びその評価 3 工場見学と討議
場 所	(1,2) 埼玉県産業技術総合センター (3) 日野自動車(株)新田工場 (株)木村鑄造所 群馬工場及び群馬FM工場 ホテルふせじま
期 間	(1,2) 平成 26 年 1 月 27 日～1 月 31 日 (3) 平成 26 年 2 月 14、15 日
参加人数	(1,2) 20 名 (3) 27 名

8.2 技術競技会

8.2.1 第49回埼玉県鑄造技術コンクール

鑄造技術の向上は、企業個々の不断の努力と研鑽が重要であり、昨今の諸外国の追い上げや経済環境の急激な変化等によりその重要性は益々高くなってきている。

埼玉県鑄造技術コンクールは、鑄物製造技術の更なるレベルアップを目的に埼玉県と川口鑄物工業協同組合が共同して開催しており、今年で49回目になる。課題を設定し高品質かつ正確に作ることを競っている。

今回は、ねずみ鑄鉄部門のべ17社、球状黒鉛鑄鉄部門のべ17社の参加で行われ、入賞者は次のとおりであった。

受賞工場一覧

ねずみ鑄鉄部門

賞名	事業所名
埼玉県知事賞	株式会社辻井製作所
埼玉県産業労働部長賞	富和鑄造株式会社
川口鑄物工業協同組合理事長賞	前澤工業株式会社
川口市長賞	合名会社富岡鑄工場
社団法人日本鑄造協会会長賞	株式会社シグマ製作所
財団法人素形材センター会長賞	新井産業株式会社
川口機械工業協同組合理事長賞	永井機械鑄造株式会社
川口木型工業協同組合理事長賞	株式会社マスセイ
川口鑄物技術センター委員長賞	吉村工業株式会社
新日鐵住金株式会社社長賞	株式会社大六鑄造

球状黒鉛鑄鉄部門

賞名	事業所名
埼玉県知事賞	株式会社永瀬留十郎工場
埼玉県産業労働部長賞	株式会社辻井製作所
川口鑄物工業協同組合理事長賞	株式会社永瀬留十郎工場 櫛引工場
川口市長賞	株式会社大六鑄造
川口商工会議所会頭賞	富和鑄造株式会社
財団法人川口工業会館理事長賞	株式会社マスセイ
川口鑄物技術センター委員長賞	新井産業株式会社
埼玉鑄物技能士会会長賞	株式会社シグマ製作所
株式会社神戸製鋼所社長賞	合名会社富岡鑄工場
神鋼商事株式会社社長賞	永井機械鑄造株式会社

8.2.2 平成 25 年度(第 56 回)埼玉県めっき技術競技会

埼玉県、埼玉県鍍金工業組合との共催により、埼玉県中小企業団体中央会、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)、産業通信社の協賛を得て、装飾用クロムめっきの部、亜鉛めっきの部、工業用クロムめっきの部、バレル亜鉛めっきの部の 4 つの部門で行われた。また参考種目として、今年度から無電解ニッケルめっきの部も行われた。

今年度の参加状況は装飾用クロムめっきの部 7 社、亜鉛めっきの部 11 社、工業用クロムめっきの部 7 社、バレル亜鉛めっきの部 5 社の合計 30 社の参加があり、無電解めっきの部は 7 社の参加があった。入賞者は以下のとおりであった。

審査結果

表彰区分	部門	装飾用クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロムめっきの部	バレル亜鉛めっきの部
埼玉県知事賞		高松電鍍工業(株)	(有)池澤鍍金工業所 菊池 貴之 氏	川口ハードクロム工業(有)	押尾化学工業(有)
埼玉県産業労働部長賞		(有)小林鍍金工業	新田興業(株) 井上 和浩 氏	吉野電化工業(株) 益子 修一 氏	カツデン(株)
埼玉県産業技術総合センター長賞		(株)真工社	吉野電化工業(株) 小野 良輔 氏 天海 裕紀 氏	新硬クローム工業(株)	(有)小築鍍金工業所
埼玉県中小企業団体中央会長賞		小松原鍍金工場 小松原 秀元 氏	押尾化学工業(有)	(株)ミドリ技研	(株)大倉
埼玉県鍍金工業組合理事長賞		(有)今井メッキ工業所	(株)サン化学	(株)精硬クローム工業 根岸 治 氏	(株)小林鍍金工業
フジサンケイビジネスアイ賞		(有)渡辺鍍金工業所 渡邊 順一 氏	(有)阪本鍍金	(株)オーク埼玉工場 近藤 大祐 氏	
産業通信社賞		(有)坂寄鍍研精工	(有)小築鍍金工業所		

8.2.3 平成 25 酒造年度春季清酒鑑評会

平成 26 年 3 月 13 日に北部研究所で実施した。出品点数 84 点(19 場)

県産清酒の酒質の向上と醸造技術の改善を図り、業界の発展のため鑑評会を行う。きき酒審査結果、成分分析結果の優良であった 13 製造場の杜氏を入賞とし、そのうち特に優秀であった 4 製造場の杜氏に北部研究所長より技術優秀賞を授与した。

平成 25 酒造年度春季清酒鑑評会技術優秀賞(組合員名簿順)

酒造場名	酒 銘	杜 氏 名
滝澤酒造(株)	菊 泉	滝澤 英之 氏
横田酒造(株)	日 本 橋	水堂 一 氏
(株)釜屋	力 士	松岡 修 氏
寒梅酒造(株)	寒 梅	鈴木 隆広 氏

8.3 ものづくり開発支援研修

県内中小企業等のものづくり開発を支援するため、ものづくり商品デザインコース、デジタルモデリングコースのほか、その他の研修を開催した。ものづくり商品デザインコースでは商品企画、デザイン、マーケティングに関する内容を、デジタルモデリングコースではCAD/CAE/RPや三次元形状取り込みに関する内容を実施し、その技術力の向上を図った。

○ 商品開発コース

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H25.9.12	新商品開発の基礎	埼玉県中小企業診断協会 金子 正雄 氏	3
H26.2.17 2.22	デザイン表現スキルアップ研修 Illustrator&Photoshop講習	女子美術大学 准教授 グラフィックデザイナー 佐藤 真澄 氏	6
合計(延べ数)	2 研修		9

○ デジタルモデリングコース

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H25.5.15	中小企業の新人教育、若手技術者向けセミナー	1 事業化支援室 製品開発支援担当 担当部長 影山 和則 2 ソリッドワークス・ジャパン株式会社 東日本事業部 テリトリーセールスマネージャー 寺内 和彦 氏 3 ソリッドワークス・ジャパン株式会社 営業技術部シミュレーション課 課長 大澤 美保 氏 4 株式会社スリーディー・システムズ・ジャパン パーソナル&プロフェッショナル 3D プリンタ事業部 ディレクター 小林 広美 氏 5 株式会社イグアス 3Dシステム担当 吉澤 岳明 氏 6 キヤノンITソリューションズ株式会社 クラウド・基盤事業部 クラウド・基盤営業二部 藤田 直人 氏	48
H25.6.24	はじめてのCAE-有限要素法の基礎から実践まで	株式会社マイダスアイティジャパン 解析技術部 課長 田村 久幸 氏	7
H25.7.26	ものづくりのためのCAD・CAEの基礎	ソリッドワークス・ジャパン株式会社 営業技術部 二課 アプリケーションエンジニア 保坂 元章 氏	24
H25.8.28	3Dプリンタを深く知るためのラピッドプロトタイピング研究会	1 日本図学会 西井 美甫 氏 2 事業化支援室 専門員 町田 芳明 3 法政大学 安藤 直見 氏	33
H25.9.3	FrontISTR研究会 <実践編(ハンズオン)>	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 人間環境学専攻 教授 奥田 洋司 氏	12
H25.9.26	サーフェスモデリングセミナー入門編	オフィス・アール・イー 西井 美甫 氏	3

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H25.10.2～10.3	ものづくりのためのデジタル技術ソリューション	キャノンシステムアンドサポート株式会社 ITS・サポート推進本部 ITソリューション販売推進部 ソフトウェア販売推進課 貞本 幸宏 氏	55
H25.11.26	組み込みソフト開発の品質向上	特定非営利活動法人 埼玉ITコーディネータ 河端 三千男 氏	4
H26.1.21	3DCAD/CAEの基礎習得セミナー	株式会社 大塚商会 CADプロモーション部 高野 伸也 氏	13
H26.2.27 2.28 3. 5 3. 6 3. 7	マイコン組み込み機器開発入門	株式会社ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏	3
合計(延べ数)	10 研修		202

○ その他のコース

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H25.6.7	EMC設計・ノイズ対策 (電磁界シミュレータによるアプローチ)	小暮技術士事務所 所長 小暮 裕明 氏	32
H25.11.12	QC7つ道具実践講座 基礎編	一般社団法人 埼玉県中小企業診断協会 理事 土屋 寛 氏	21
H26.2.18	中小企業が知っておくべき情報セキュリティ対策講座	特定非営利活動法人 埼玉ITコーディネータ 河端 三千男 氏	6
合計(延べ数)	3 研修		59

○ 合計

研修コース	研修数	修了者数
ものづくり商品デザインコース	2	9
デジタルモデリングコース	10	202
その他	3	59
合計(延べ数)	15	270

8.4 科学技術体験学習の実施

8.4.1 スーパーサイエンスハイスクール事業

本所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された浦和第一女子高等学校と連携し、センター職員が講義する 8 つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成 25 年 12 月 11 日(水)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター
- (3) 人 数 38 名(浦和第一女子高等学校 1 年生)
- (4) 学習内容
 - ① 鋳物づくり体験学習
 - ② X線による非破壊検査体験学習[X線撮影・現像・評価等]
 - ③ 天然水中のミネラル分の測定
 - ④ メッキ液中光沢剤の濃度評価
 - ⑤ 金属の電解研磨
 - ⑥ 炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の強度測定
 - ⑦ 自作アンテナによる地デジの受信と電波の観察
 - ⑧ 情報化社会を支える暗号技術について

北部研究所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された熊谷女子高等学校と連携し、センター職員が講義する 6 つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成 25 年 10 月 2 日(水)～3 日(木)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所
- (3) 人 数 34 名(熊谷女子高等学校 1 年生)
- (4) 学習内容
 - ① 天然水中のミネラル分の測定
 - ② 混用率試験
 - ③ 色彩測定
 - ④ 紫外線遮断率&ホルムアルデヒド分析
 - ⑤ お酒を造る酵母はアルコールに強いだろうか
 - ⑥ 小麦粉の性質を知る

9 その他の事業

9.1 職員研修

職員の技術力向上に資するため、各種研修会に職員を参加させるとともに、職場研修を実施した。

本所

研修機関・講座名	期間	場 所	研修者
(株)JEOL RESONANCE NMR 構造解析初級コース	H25.5.15	日本電子(株)本社 開発館	灘野 朋美
サーモフィッシャーサイエンティフィック (株) GC-MS セミナー	H25.6.7	丸の内トラストタワー	仲島 日出男 唐牛 聖文
(公社)日本分析化学会分析士会 液体クロマトグラフィー分析士三段認証 試験	H25.7.11	品川ホテルゆうぼうと	熊谷 知哉
第83回東北大学金属材料研究所 夏期講習会	H25.7.24~7.26	兵庫県立工業技術センター	菊池 和尚
EMC の理論とシミュレーション	H25.7.25~7.26	高度職業能力開発促進センター	宗形 隆史 岡林 美由貴
サーモフィッシャーサイエンティフィック (株) GC-MS&サンプリングシステムセミ ナー	H25.8.21	サーモフィッシャーサイエンティ フィック(株)横浜本社	仲島 日出男
(株)R&D 支援センター 高分子の劣化・変色のメカニズムと寿命 評価及びトラブル解析事例	H25.9.20	タイム 24 ビル	灘野 朋美 坂本 大輔
マイコン制御システム開発実践技術(PIC 編)	H25.10.29~ 11.1	埼玉職業能力開発促進センター	鈴木 浩之
電子回路から発生するノイズ対策	H25.11.13~ 11.14	高度職業能力開発促進センター	田中 智大 宗形 隆史
ISO17025 内部監査員養成セミナー	H25.11.25~ 11.26	JFE テクノリサーチ(株)	仲島 日出男
アジレント・テクノロジー(株) 分析セミナー	H25.11.27	大宮ソニックシティ	仲島 日出男 唐牛 聖文
金属材料における破面解析の基礎と定 性・定量解析事例および破損防止への 応用	H25.11.27	日本テクノセンター研修室	秋山 稔
サーモフィッシャーサイエンティフィック (株) DIONEX IC 技術説明会	H25.12.3	AP 横浜駅西口	仲島 日出男
日本電子(株) MS ユーザーズミーティング	H25.12.4	東京大学 本郷キャンパス	仲島 日出男 唐牛 聖文
金属めっき技術のトラブル対策	H25.12.5~12.6	高度職業能力開発促進センター	福島 泰年
表面技術協会関東支部 実習セミナー めっき基礎実習講座	H26.1.17	(株)日本表面処理研究所	出口 貴久

北部研究所

研修機関・講座名	期間	場 所	研修者
アジレント・テクノロジー(株) 食品分析セミナー	H25.4.25	国際ファッションセンター	樋口 誠一
メルク(株) メルクミリポア事業本部 イムノクロマトグラフィー基礎講座	H25.5.28	TKPお茶の水カンファレンスセ ンター	富永 達矢
(株)島津テクノリサーチ、(株)島津製作所 生活環境のにおいの分析・評価技術セミ ナー	H25.5.28	(株)島津製作所 東京本社	小島 登貴子 樋口 誠一
アジレント・テクノロジー(株) 食品分析 LC セミナー	H25.6.13	国際ファッションセンター	鶴菌 大
産技研研究成果発表会	H25.6.21	(独)産業技術総合研究所 臨海 副都心センター	鳥羽 遼子

研修機関・講座名	期 間	場 所	研修者
(株)日立ハイテクノロジーズ 材料解析テクノフォーラム	H25.7.4	THE GRAND HALL(品川グランドセントラルタワー)	鶴 蘭 大
メルク(株) メルクミリオア事業本部 TLC 基礎講座	H25.7.11	TKPお茶の水カンファレンスセンター	富永 達矢
食総研・産総研ジョイントシンポジウム	H25.7.11	(独)産業技術総合研究所 臨海副都心センター	鈴木 理博
(株)日立ハイテクノロジーズ 精密検査機器 5 社合同セミナー	H25.7.26	東京スカイツリー	常見 崇史
ANSYS Workbench Mechanical接触解析セミナー	H25.8.21	富士ソフト秋葉原ビル	鳥羽 遼子
第 17 回放射線・放射能・中性子計測クラブ研究会「放射線・放射能計測技術セミナー(福島)」	H25.8.28	福島テルサ大会議室(あぶくま)	小島 登貴子 鈴木 理博
日本顕微鏡学会 分析電子顕微鏡分科会 分析電子顕微鏡討論会	H25.9.3~9.4	幕張メッセ 国際会議場 国際会議室	常見 崇史
(株)リガク 蛍光X線分析スクール	H25.9.11~9.13	(株)リガク 東京工場	富永 達矢
AACC 日本支部講演会	H25.9.19	製粉会館	小島 登貴子
東京都立産業技術研究センター イノバスタ 2013 ワークショップ	H25.9.20	(地独)東京都立産業技術研究センター	小島 登貴子 常見 崇史
大麦食品・食のモデル事業 人材育成研修会	H25.10.1	新都心ビジネス交流プラザ	鶴 蘭 大
スガウエザリング学術講演会	H25.10.30	アルカディア市ヶ谷	大川 薫
(株)リガク 蛍光X線分析スクール	H25.11.6	(株)リガク 東京工場	細井 永次
(株)山電食品 テクスチャー測定講習会	H25.11.22	文京区シビックホール	小島 登貴子 常見 崇史
アジレント・テクノロジー(株) 分析セミナー	H25.11.27	大宮ソニックシティ	樋口 誠一
日本電子(株) MS ユーザーズミーティング	H25.12.4	東京大学 本郷キャンパス	樋口 誠一
理研シンポジウム	H25.12.6	(独)理化学研究所(和光)	鳥羽 遼子
和光純薬 エンドドキシシ試験法	H26.2.12	コクヨ(株) 東京品川オフィス	細井 永次
三次元測定機操作研修	H26.2.25~2.26	(株)東京精密土浦工場	鳥羽 遼子

職場研修

名 称	期 日	会 場	参加人数
試験所認定関連研修会 講師:一般財団法人化学物質評価研究機構 東京事業所 化学標準部 松本 保輔 氏 話者:事業化支援室 巻島 秀男	H26.2.26	埼玉県産業技術総合センター 4AB 会議室	26

9.2 顧客満足度（CS）アンケート

平成 16 年 1 月から利用者の声を生かした事業の充実を図るため、北部研究所を含め顧客満足度(CS)調査を実施している。

アンケート対象は、依頼試験、技術相談、開放機器利用等で来所した利用者である。

アンケート期間は平成 25 年 6 月から平成 26 年 3 月である。回収分の集計結果の概要は次のとおりである。

(1) 回答数 延べ 686 件

(2) 電話、受付及び窓口の対応

満足	概ね満足	やや不満	不満
67%(424 件)	32%(200 件)	1%(4 件)	0%(2 件)

(3) 職員の技術面における対応

満足	概ね満足	やや不満	不満
74%(476 件)	25%(164 件)	1%(5 件)	0%(1 件)

(4) 来所の目的に対する結果

満足	概ね満足	やや不満	不満
66%(416 件)	32%(202 件)	2%(16 件)	0%(1 件)

(5) 保有設備の数量や種類

満足	概ね満足	やや不満	不満
48%(259 件)	46%(245 件)	5%(29 件)	1%(5 件)

9.3 運営委員会の開催

埼玉県産業技術総合センターの事業・研究業務の効果的な運営を図るため、外部有識者からなる「埼玉県産業技術総合センター運営委員会」を 2 回開催し、業務内容等を検討した。

9.3.1 開催状況

(1) 第 1 回運営委員会

(ア) 日 時:平成 25 年 9 月 26 日(木)

(イ) 場 所:埼玉県産業技術総合センター(本所) 5 階交流サロン

(ウ) 議 題 「SAITEC の紹介と本年度の活動経過報告について」

(エ) 参加人数

運営委員 8 人 埼玉県 10 人 計 18 人

(2) 第 2 回運営委員会

(ア) 日 時:平成 26 年 3 月 10 日(月)

(イ) 場 所:埼玉県産業技術総合センター 5 階交流サロン

(ウ) 議 題 「今年度の活動報告と来年度の方針について」

(エ) 参加人数

運営委員 6 人 埼玉県 10 人 計 16 人

9.3.2 運営委員

(50 音順)

東京電機大学

伊藤鉄工(株)

(株)和幸製作所

(独)産業技術総合研究所

ものづくり大学

上板塑性(株)

(株)松本醤油

埼玉大学

特任教授

代表取締役

代表取締役

産学・地域連携室長

教授

代表取締役

代表取締役

副学長

阿高 松男 氏

伊藤 光雄 氏(副委員長)

小川 逸郎 氏

尾崎 浩一 氏

鈴木 克美 氏

武山 睦子 氏

松本 公夫 氏

睦好 宏史 氏(委員長)